

令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事（建築）

図 面 目 録					
意 匠			構 造		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A-01	建築工事特記仕様書(その1)	-	A-15	展開図1(西側)	1/50
A-02	建築工事特記仕様書(その2)	-	A-16	展開図2(西側)	1/50
A-03	建築工事特記仕様書(その3)	-	A-17	展開図3(西側)	1/50
A-04	建築工事特記仕様書(その4)	-	A-18	展開図4(東側)	1/50
A-05	案内図・付近見取図	-	A-19	展開図5(東側)	1/50
A-06	求積図・面積表	1/100	A-20	展開図6(東側)	1/50
A-07	仕上表	-	A-21	建具 KEYPLAN	1/60
A-08	配置図兼1階平面図	1/100	A-22	金属製建具表	1/60
A-09	屋根伏図	1/100	A-23	木製建具表	1/60
A-10	立面図	1/100	A-24	天井伏図	1/60
A-11	断面図	1/100	A-25	外構図	1/100、30、10
A-12	1階平面詳細図	1/60	A-26	外構撤去図	1/100
A-13	屋根平面詳細図	1/60	A-27	雑詳細図	1/20、30
A-14	断面詳細図	1/60	A-28	仮設計画図	1/100
S-01	構造標準仕様書-1	-			
S-02	構造標準仕様書-2	-			
S-03	構造標準仕様書-3	-			
S-04	柱壁伏図	1/70			
S-05	1階母屋伏図	1/70			
S-06	1階小屋梁伏図(基準高さ)	1/70			
S-07	1階床伏図	1/60			
S-08	基礎伏図	1/70			
S-09	基礎断面詳細図	1/25			
S-10	軸組図	1/60			
S-11	軸組図	1/60			

渡名喜村役場 経済課

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	図面目録
発注機関	渡名喜村 経済課	縮 尺	
摘 要		図面番号	A-00
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	徳村 泉	
	登録番号	1級建築士第事務所144-33号 1級建築士登録(大臣)第350160号	
	所 在 地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号	

建築工事特記仕様書〔建築工事編〕沖縄県土木建築部																									
令和4年7月改定版																									
1 工事概要	<p>(1) 工事名：令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事</p> <p>(2) 工事場所：渡名喜村1793番地 (地域地区等：重要伝統的建造物群保存地区)</p> <p>(3) 敷地面積：484.31㎡</p> <p>(4) 工事種目：新築</p> <p>ア 建築物</p> <table border="1"> <tr><td>建築物の名称</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>主要用途</td><td>多用途住宅</td><td></td></tr> <tr><td>構造及び階数</td><td>木造・1階建て</td><td></td></tr> <tr><td>工事種別</td><td>新築</td><td></td></tr> <tr><td>建築面積</td><td>138.46㎡</td><td></td></tr> <tr><td>延べ面積</td><td>132.48㎡</td><td></td></tr> </table> <p>イ 工作物及び立木</p> <table border="1"> <tr><td>工作物等の名称</td><td>石垣(サンゴ)</td><td></td></tr> <tr><td>数量</td><td>図示</td><td></td></tr> </table>	建築物の名称			主要用途	多用途住宅		構造及び階数	木造・1階建て		工事種別	新築		建築面積	138.46㎡		延べ面積	132.48㎡		工作物等の名称	石垣(サンゴ)		数量	図示	
建築物の名称																									
主要用途	多用途住宅																								
構造及び階数	木造・1階建て																								
工事種別	新築																								
建築面積	138.46㎡																								
延べ面積	132.48㎡																								
工作物等の名称	石垣(サンゴ)																								
数量	図示																								
2 本工事の設計時期	本工事の設計書は、令和 8年 3月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。																								
3 建築工事仕様	<p>(1) 標準仕様</p> <p>図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」〔令和4年版〕(以下「標準仕様書」という。)</p> <p>(2) 特記仕様</p> <p>ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>イ 特記事項は、「」に○印の付いたものを適用する。</p> <p>「・」に○印がつかない場合は「※」の付いたものを適用する。</p> <p>「」と「※」に○印がついた場合は共に適用する。</p> <p>ウ 項目及び特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>エ 特記事項に記載の(参 . . .)は、標準仕様書の参考資料4各部配筋参考図の当該項目を示す。</p>																								
4 その他	<p>(1) 公共事業労務費調査に対する調査</p> <p>ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。</p> <p>イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。</p> <p>ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。</p> <p>エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。</p> <p>(2) 暴力団員等による不当介入の排除対策</p> <p>受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書(平成19年7月24日)に基づき、次に関する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。</p> <p>ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。</p> <p>イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。</p> <p>ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。</p> <p>(3) ワンデーレスポンスの実施</p> <p>ア この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。</p> <p>「ワンデーレスポンス」とは、監督員が、受注者からの質問、協議の回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。</p> <p>イ 受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。</p> <p>ウ 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員へ報告すること。</p> <p>エ 効果・課題等を把握するためのアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合があります。協力すること。</p>																								

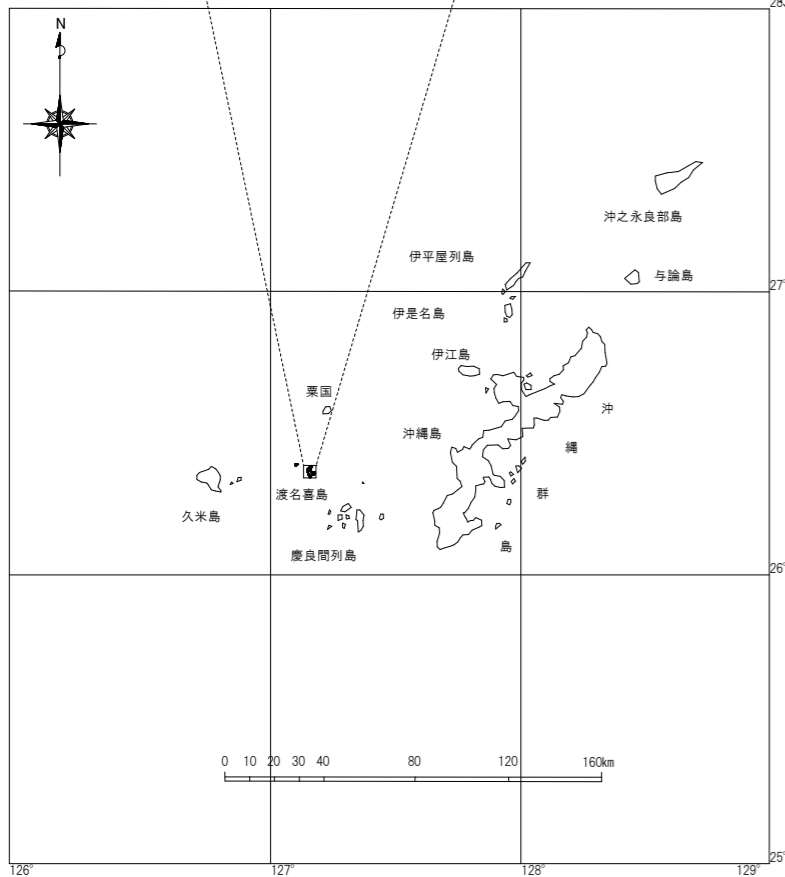
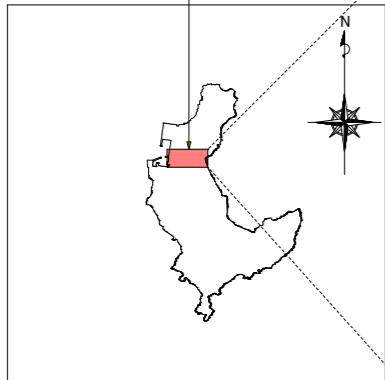
(4) 工事監理業務への協力等	<p>ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約)に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。)</p> <p>イ 工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者(以下「管理技術者等」という。)の氏名等は、発注者から通知する。なお、管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。</p> <p>ウ 設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。</p> <p>エ 建設業法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。</p>
(5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて	<p>本工事の請負代金額の変更協議をする場合又は本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率(元契約額÷元設計額)を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。</p>
(6) 県産資材の優先使用	<p>本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。</p>
(7) 下請業者の県内企業優先活用	<p>請負業者は、下請契約の相手方を県内企業(主たる営業所を沖縄県内に有する者。)から選定するよう努めなければならない。</p>
(8) 不発弾等発見時の処理について	<p>本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署(交番、駐在所)に報告すると共に、監督員を通して関連市町村(防災主管課)、沖縄県知事室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術・建設業課に報告すること。</p> <p>また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態を保存すること。</p> <p>なお、これについては、下請業者へも周知すること。</p>
(9) ダンプトラック等の過積載等の防止について	<p>ア 工事用資機材等の積載超過がないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。</p> <p>イ 過積載を行っている資材納入者から資材購入をしないこと。</p> <p>ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。</p> <p>エ さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることがないようにすること。</p> <p>オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。</p> <p>カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。</p> <p>キ アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。</p>
(10) 不正軽油の使用の禁止等について	<p>ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)又は建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。)を使用し、又は使用させてはならない。</p> <p>イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の採取調査に協力しなければならない。</p>
(11) 設計図書における資材等の取扱いについて	<p>ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。</p> <p>イ 本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のとりの品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同等品以上の資材を使用すること。なお、使用にあたっては監督職員の承諾を得るものとする。</p> <p>ウ 「参考図」は建設工事請負契約約款第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。</p>

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	①適用基準等	<p>○ 建築工事監理指針(令和7年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修</p> <p>○ 建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部</p> <p>○ 敷地調査共通仕様書(令和5年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部</p> <p>○ 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(令和6年版)(一社)公共建築協会</p> <p>○ 営繕工事写真撮影要領(令和5年版)</p> <p>○ 磁気探査実施要領(令和2年1月)沖縄県土木建築部</p> <p>○ 沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体・再資源化および再生資源活用に関する実施要領(平成25年12月)沖縄県土木建築部</p> <p>○ 構造計画・施工計画の留意事項(令和4年4月)沖縄県土木建築部</p>
	2 工事実績情報の登録(1.1.4)	登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。
③ 工事の一時中止に関する事項(1.1.9)	工事の一時中止に係る計画の作成	<p>(1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。</p> <p>なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関する事項、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関する事項及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。</p> <p>(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。</p>
	4 工事の余裕期間	<p>・ 本工事は、余裕期間を設定して実施する工事である。</p> <p>(1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮していない。</p> <p>(2) CORINDS登録については、実工期期間にて技術者の従事期間の登録を行うこと。</p> <p>(3) 余裕期間における現場代理人、主任技術者又は監理技術者の配置は不要とする。</p> <p>(4) 受注者は、契約書第3条に基づき提出する工程表は、余裕期間を記入したものとす。</p> <p>(5) 受注者は、着手関係書類(工程表、請負代金内訳書を除く)について、実工期の始期に提出するものとする。</p> <p>(6) 受注者は、余裕期間内においては資材の搬入、仮設物の設置等工事の着手を行ってはならない。ただし、余裕期間内に施工体制等及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議を行い、速やかに工事着手するとともに、着手関係書類を提出するものとする。</p> <p>(7) 実工期の始期に変更が生じた場合は、全体工期の変更協議を行う。</p> <p>(8) 受注者は、契約書第35条第1項の規定にかかわらず、実工期の始期以降でなければ、発注者に対して前払金の支払いを請求することはできない。</p>
5 概成工期(1.2.1)	図示された範囲は【令和 年 月 日】までに完了すること。	
⑥ 品質計画等(1.2.2)	<p>建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。</p> <p>(1) 風速：V0=46m/s (平12建告第1454号第2)</p> <p>(2) 地表面粗度区分：Ⅲ</p> <p>(8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.14.5)(23.5.4)</p>	
⑦ 施工図等(1.2.3)	<p>(1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。</p> <p>(2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図(各1/50程度)及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要な内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。</p> <p>(3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。</p>	
⑧ 電気保安技術者(1.3.3)	電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。	
⑨ 施工条件(1.3.5)	<p>施工順序等の制約 ○ 無し</p> <p>・ 有り【 ・ 現場説明書による ・ 図示 ・ 協識による</p> <p>工事車両の駐車場所： ・ 図示 ・ 現場説明書による ○ 協識による</p> <p>資材、機材置場： ・ 図示 ・ 現場説明書による ○ 協識による</p> <p>建設発生土の仮置場： ・ 図示 ・ 現場説明書による ○ 協識による</p> <p>その他の施工条件： ・ 図示 ・ 現場説明書による ○ 協識による</p>	

⑩ 施工中の安全確保及び環境保全等(1.3.7)(1.3.10)	(1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号)による建設機械を使用する。								
	(2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経発第249号最終改正平成22年3月18日付け国総施設第291号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。								
11 交通安全管理(1.3.8)	<p>一般工用建設機械(ディーゼルエンジン出力7.5~260kW)</p> <p>ア バックホウ</p> <p>イ 車輪式トラクタショベル</p> <p>ウ ブルドーザ</p> <p>エ 発動発電機</p> <p>オ 空気圧縮機</p> <p>カ 油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの)</p> <p>キ ローラ類</p> <p>ク ホイールクレーン</p>								
	国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。(平成27年4月3日 沖縄県公安委員会告示第36号)								
⑫ 発生材の処理等(1.3.11)	(1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。								
	<table border="1"> <tr> <td>発注者に引き渡すもの</td> <td>なし</td> <td>発生材の種類</td> </tr> <tr> <td>特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場において再利用を図るもの</td> <td>サンゴ(ヒデーク)</td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税(沖縄県産業廃棄物税)が課税されるので、適正に処理すること。</p> <p>(3) 受注者は、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出しなければならない。</p> <p>また、受注者は、その計画書に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出しなければならない。</p> <p>(4) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆくゆくは材の認定を受けた施設又はゆくゆくは材の認定を受けていないが、再資源化後にゆくゆくは材製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に当該施設がない場合はこの限りではない。</p> <p>(5) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前に掲げる施設のうち、受入条件の合う中から運搬費と処分費(平日受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。</p> <p>(6) アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について</p> <p>ア 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する濁水及び粉体(以下、廃棄物という。)については、廃棄物吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。</p> <p>「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(請負業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報(成分性状等)を処理業者に提供することが必要である。なお、工事に際して特別な混入物が無ければ、下記HPに掲載されている「濁水及び粉体の分析結果」を用いても差し支えない。</p> <p>http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/seibi/sangyo/asufaruto.html</p> <p>なお、受注者は、廃棄物の処理に係る産業廃棄物管理票(マニフェスト)については、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。</p> <p>イ 発生する濁水(汚濁)に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水の取扱基準について(通知)(平成24年3月28日付け土技第1257号)」に基づき、適正に処理すること。</p> <p>ウ 発生する粉体に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物の取扱いについて(通知)(平成25年1月17日付け土技第942号)」に基づき、適正に処理すること。</p>	発注者に引き渡すもの	なし	発生材の種類	特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法	なし		現場において再利用を図るもの	サンゴ(ヒデーク)
発注者に引き渡すもの	なし	発生材の種類							
特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法	なし								
現場において再利用を図るもの	サンゴ(ヒデーク)								
工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和 8 年度						
工事場所	沖縄県島尻郡渡名喜村1793番地	図面名称	建築工事特記仕様書(その1)						
発注機関	渡名喜村 経済課	縮 尺	NO-SCALE						
摘 要	管理建築士	設 計	製 図						
検 印	図面番号	図 面 称	株式会社 宮平設計						
	資格者氏名	登録番号	一級建築士 第350160号 徳村 泉						
	所在地	登録番号	一級建築士事務所 知事登録第144-33号						
		所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号						

<p>⑮ 左官工事(続き)</p> <p>⑤ 仕上塗材仕上げ(15.6.2)(表15.6.1)</p> <p>6 マスチック塗料塗り(表15.7.2)</p> <p>7 せっこうプラスター塗り(15.8.2)(15.8.3)</p> <p>8 しっくい塗り(15.10.2)</p> <p>9 ロックウール吹付け(15.12.3)</p>	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状・工法等</th> </tr> <tr> <td>図示による</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>工程</th> <th>種別</th> <th>塗料その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	呼び名	仕上げの形状・工法等	図示による			工程	種別	塗料その他				<p>⑩ 鍵(16.8.4)</p> <p>11 自動ドア開閉装置(16.9.3)(表16.9.4)</p> <p>12 シャッター(16.11.2)(16.12.2)(16.12.4)</p> <p>13 オーバーヘッドドア(16.13.2)</p> <p>⑭ ガラス(16.14.2)(16.14.4)(16.14.5)</p>	<p>(1) マスターキー:【○製作する ・ 製作しない】</p> <p>(2) 関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまとめて納品する。</p> <p>(1) 戸の開閉方法:【 ・ 引戸 ・ 開き戸 ・ 折戸】</p> <p>(2) センサーの種類:</p> <p>(1) シャッターの種類:【 ・ 重量() ・ 軽量】</p> <p>(2) 耐風圧強度:</p> <p>(3) 開閉機能:【 ・ 手動式 ・ 電動式】</p> <p>(4) 重量シャッターの場合のシャッターケース:【 ・ 設ける ・ 設けない】</p> <p>(5) スラットの形式:【 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形】</p> <p>(1) 耐風圧性能の区分:</p> <p>(2) 開閉機能:【 ※バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式】</p> <p>(3) 収納形式による区分:</p> <p>(1) ガラスの種類及び厚さ等</p> <table border="1"> <tr> <th>ガラスの種類</th> <th>厚さ等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) ガラス留め材</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材種</th> </tr> <tr> <td>外部建具</td> <td>シリコン系 SR-1</td> </tr> </table> <p>(3) 熱線反射ガラスの映像調整:</p> <p>(4) ガラスブロックの材料及び工法</p> <table border="1"> <tr> <th>表面形状呼び寸法</th> <th>厚さ</th> <th>壁用金属枠</th> <th>補強材</th> <th>色</th> <th>金属製化粧カバー</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ガラスの種類	厚さ等	備考	図示			建具の種類	材種	外部建具	シリコン系 SR-1	表面形状呼び寸法	厚さ	壁用金属枠	補強材	色	金属製化粧カバー							<p>④ フローリング張り(19.5.2)(19.5.3)</p> <p>5 フローリングボードの特殊張り</p> <p>6 畳敷き(19.6.2)</p> <p>⑦ せっこうボード、その他ボード及び合板張り(19.7.2)(19.7.3)(表19.7.5)</p> <p>⑧ 壁紙張り(19.8.2)</p> <p>⑨ 断熱及び防露(19.9.2)(19.9.3)</p>	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>品名</th> <th>備考(樹種、種別等)</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>体育館、武道場等の床の強度、弾力性を特に要求される広い床は、日本体育床下地工業会編「体育館床工事標準施工要領書」による。</p> <p>(1) 畳の種類【 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種(種別:)】</p> <p>(2) 畳表に使用する材料は沖縄県産とする。</p> <p>(1) せっこうボード</p> <table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類の記号</th> <th>厚さ</th> <th>施工箇所</th> <th>目地工法の種類</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の名称</th> <th>施工箇所</th> <th>その他の仕様</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示(A-)による。</td> </tr> </table> <p>※合板の木材処理(防虫・防蟻)については、本特記仕様書第12章第3項及び第4項を適用する。</p> <p>(3) 軽量鉄骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材:【 ・ 】</p> <p>品質及び防火性能:【 図示による】</p> <p>断熱材の種類及び厚さ:【 図示による】</p>	施工箇所	工法	品名	備考(樹種、種別等)	図示			図示	規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類	図示					合板の名称	施工箇所	その他の仕様			※図示(A-)による。	<p>(3) グレーチング</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(4) 地業の材料:【 】</p> <p>3 基床(21.2.2)</p> <p>4 街きよ、縁石及び側溝(21.3.1)</p> <p>22 舗装工事</p> <p>1 路床(22.2.2)(22.2.3)(22.2.5)(表22.2.1)</p> <p>2 路盤(22.3.2)(22.3.5)</p> <p>3 アスファルト舗装(22.4.2)(22.4.4)(22.4.5)</p> <p>4 コンクリート舗装(22.5.2)</p> <p>5 カラー舗装(22.6.2)</p> <p>6 透水性アスファルト舗装(22.7.2)</p> <p>7 ブロック系舗装(22.8.1)</p>	材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考																																																																																																																																																																																																																										
	種類	呼び名	仕上げの形状・工法等																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	工程	種別	塗料その他																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	ガラスの種類	厚さ等	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	図示																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	建具の種類	材種																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	外部建具	シリコン系 SR-1																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	表面形状呼び寸法	厚さ	壁用金属枠	補強材	色	金属製化粧カバー																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	工法	品名	備考(樹種、種別等)																																																																																																																																																																																																																																																																																												
図示			図示																																																																																																																																																																																																																																																																																												
規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																											
図示																																																																																																																																																																																																																																																																																															
合板の名称	施工箇所	その他の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		※図示(A-)による。																																																																																																																																																																																																																																																																																													
材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>⑯ 建具工事</p> <p>① 防火戸等(16.1.3)(16.1.6)</p> <p>② 見本の製作等(16.1.4)</p> <p>③ アルミニウム製建具(16.2.2)(16.2.4)(16.2.5)(表14.2.1)(表16.2.1)</p> <p>4 樹脂製建具(16.3.2)(16.3.3)(16.3.4)(16.3.5)(表16.3.1)(表16.3.2)(表16.3.3)(表16.3.4)</p> <p>5 鋼製建具(16.4.2)</p> <p>6 鋼製軽量建具(16.5.2)(16.5.3)(表16.2.1)</p> <p>7 ステンレス製建具(16.6.2)(16.6.3)</p> <p>⑧ 木製建具(16.7.2)(16.7.4)</p> <p>⑨ 建具用金物(16.8.2)(16.8.3)(表16.8.1)</p>	<p>(1) 防火戸の指定及び機構等は、図示による。</p> <p>(2) 特殊な建具部品の適用は、図示による。</p> <p>(1) 建具見本の製作:【 ・ 行方 ・ 行わない】</p> <p>(2) 特殊な建具の仮組:【 ・ 実施する ・ 実施しない】</p> <p>※監督員との協議による</p> <p>(1) 建具の性能等</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>70</td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>※法令に準ずる耐風圧性とする。</p> <p>※ただし、既製品については製品仕様による。</p> <p>(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級</p> <table border="1"> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 防音ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 断熱ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐震ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) 外部に面する建具の表面処理の種類及び複合皮膜の種類</p> <p>種別: B-1</p> <p>複合皮膜の種類:【 ・ A1 ・ A2】(JIS H 8602)</p> <p>(4) 結露水の処理方法:</p> <p>(5) 水切り及びげん板等の加工及び組立は、図示による。</p> <p>(1) 建具の性能等</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級</p> <table border="1"> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 防音ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 断熱ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) 表面色:</p> <p>(4) 水切り及びげん板等の加工及び組立は、図示による。</p> <p>(5) ガラス: ※複層ガラス ・ 単板ガラス ・ 三重ガラス ・</p> <p>(1) 建具の性能等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>耐風圧性</th> <th>備考(材料等)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級</p> <table border="1"> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 簡易気密型ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) 鋼板の種類:【 ・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】</p> <p>(1) 建具の性能等</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級</p> <table border="1"> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 簡易気密型ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) ピンル被覆鋼板:【 ・ 使用する ・ 使用しない】</p> <p>(4) カラー鋼板の適用:【 ・ 使用する ・ 使用しない】</p> <p>(1) 建具の性能等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>耐風圧性</th> <th>備考(材料等)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 表面仕上げ:【 ※HL ・ バイブレーション ・ 鏡面 ・ 】</p> <p>(1) かまち戸</p> <p>かまちの樹種: 図示、鏡板の樹種: 図示</p> <p>(2) ふすま</p> <p>上張りの種類: 図示、縁の仕上げ: 図示</p> <p>(1) 建具用金物の材質、形状及び寸法</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>(2) 建具用金物の取付け位置等は、図示による。</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所	図示	S-5	A-4	W-5	70	図示	ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	・ 防音ドアセット				・ 断熱ドアセット				・ 耐震ドアセット				種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所							ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	・ 防音ドアセット				・ 断熱ドアセット				施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)						ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	・ 簡易気密型ドアセット				種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所							ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	・ 簡易気密型ドアセット				施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)						形式	金物の種類	見え掛り部の材質	備考				図示	<p>17 カーテンウォール工事</p> <p>1 カーテンウォール(17.2.2)(17.2.3)(17.2.6)(17.3.2)(17.3.3)(17.3.6)</p> <p>⑰ 塗装工事</p> <p>① 塗装の種類及び種別(18.1.7)(18.2.2)(18.13.2)</p> <p>② 保証</p> <p>(1) 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。</p> <p>(2) 保証期間は、工事完成後【 10 】年間とする。</p> <p>⑱ 内装工事</p> <p>① ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3)</p> <p>(1) ビニル床シートの材料及び工法</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>熱溶接工法の適用</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td>t2.0</td> <td>○有り ・ 無し ・ 有り ・ 無し</td> </tr> </table> <p>(2) ビニル床タイル、ゴム床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類(・形状)</th> <th>厚さ等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) 特殊機能床材の適用:</p> <p>【 ・ 帯電防止床シート又は床タイル ・ 視覚障害者用床タイル ・ 耐動荷重性床シート ・ 防滑性床シート又は床タイル】</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類(・形状)</th> <th>厚さ等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(1) カーベットの敷き(19.3.2)(19.3.3)(表19.3.1)(表19.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>カーベットの種類・種別</th> <th>厚さ</th> <th>パイル形状等</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ グリップ ・ 全面接着 ・ グリップ ・ 全面接着</td> </tr> </table> <p>(1) 帯電性の適用【 ・ 有り ・ 無し】</p> <p>(2) 見切り、押さえ金物の材質、種類及び形状は図示による。</p> <p>エポキシ樹脂系塗床の仕上げの種類:</p> <p>3 合成樹脂塗床(19.4.3)</p>	施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ	熱溶接工法の適用	図示			t2.0	○有り ・ 無し ・ 有り ・ 無し	施工箇所	種類(・形状)	厚さ等				施工箇所	種類(・形状)	厚さ等				施工箇所	カーベットの種類・種別	厚さ	パイル形状等	工法					・ グリップ ・ 全面接着 ・ グリップ ・ 全面接着	<p>⑳ ユニット及びその他工事</p> <p>1 フリーアクセスフロア(20.2.2)</p> <p>2 可動間仕切(20.2.3)</p> <p>3 移動間仕切(20.2.4)</p> <p>4 トイレブース(20.2.5)</p> <p>5 階段滑り止め(20.2.6)</p> <p>6 ブラインド(20.2.12)</p> <p>7 ロールスクリーン(20.2.13)</p> <p>8 カーテン(20.2.14)</p> <p>9 間知石及びコンクリート間知ブロック積み(20.4.2)(20.4.3)</p> <p>10 くつふきマット</p> <p>① 流し台ユニット</p> <p>② 郵便ポスト</p> <p>21 排水工事</p> <p>1 排水管(21.2.1)</p> <p>2 側塊、排水枡等(21.2.2)</p>	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>高さ</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>帯電防止性能</th> <th>漏えい抵抗</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>施工箇所 構造形式 構成基材 遮音性 表面仕上げ 建具寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>表面材</th> <th>操作方法</th> <th>遮音性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>あと施工アンカーの使用:【 ・ 有り ・ 無し】材質、寸法等は図示による。</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>操作方式</th> <th>幅及び高さ</th> <th>材種</th> <th>品質等</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>きれ地の種別等</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(1) 間知石</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>目塗り</th> <th>目地の材種・厚さ等</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>図示【A- 】</td> </tr> </table> <p>(2) コンクリート間知ブロックの適用がある場合の種類及び質量区分:【 ・ 】</p> <p>(1) くつふきマットの材種:【 ・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼(SUS304)製】</p> <p>(2) 受け枠の材種:【 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼(SUS304)製】</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>寸法</th> <th>適用内容</th> <th>規格・品質</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>流し台</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>カップボード</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>UB</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポスト</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(1) 側塊</p> <table border="1"> <tr> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 排水枡</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗								施工箇所	種類	表面材	操作方法	遮音性	備考							表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				材種	形状	寸法	備考					形式	種類	スラットの材質	スラットの幅	施工箇所						操作方式	幅及び高さ	材種	品質等	施工箇所						形式	開閉操作	きれ地の種別等	施工箇所	備考						材種	目塗り	目地の材種・厚さ等	施工箇所				図示【A- 】	名称	寸法	適用内容	規格・品質	備考	流し台	図示				カップボード	図示				UB	図示				ポスト	図示				材種	管の種類	呼び径	備考					形状	寸法	備考				種類	適用荷重	備考				<p>⑳ 植栽及び屋上緑化工事</p> <p>① 植栽地の確認(23.1.3)(23.2.2)(23.2.3)</p> <p>② 植樹(23.3.2)(23.3.4)(23.3.6)</p> <p>3 芝張り等(23.4.2)</p> <p>4 屋上緑化(23.5.2)(23.5.3)(23.5.4)</p>	<p>(1) 植栽地の土壌試験:</p> <p>(2) 暗きよ、開きよ及び排水層等の設置は、図示による。</p> <p>(3) 土壌改良材:</p> <p>(4) 植込み用土:</p> <p>(1) 種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の種類</th> <th>樹高(m)</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>支柱の形</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>図示による</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>整備範囲は図示による</td> </tr> </table> <p>(2) 新植樹木の枯補償の期間:【 ※1年 ・ ()年】</p> <p>(3) 移植樹木の枯損処理を行う期間:【 ※1年 ・ ()年】</p> <p>(1) 芝の種類:</p> <p>(2) 種子の種類及び量:</p> <p>(3) 地被類</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>芽立数</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>土壌層の厚さ 排水層の厚さ 樹木の樹種、寸法、数量 支柱の形式 かん水装置</p> <p>※見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等は、図示による。</p> <p>※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。</p>	樹木の種類	樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	支柱の形	備考	図示による				整備範囲は図示による	樹種	芽立数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数				
	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	図示	S-5	A-4	W-5	70	図示																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・ 防音ドアセット																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・ 断熱ドアセット																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・ 耐震ドアセット																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 防音ドアセット																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ 断熱ドアセット																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 簡易気密型ドアセット																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																										
ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 簡易気密型ドアセット																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)																																																																																																																																																																																																																																																																																											
形式	金物の種類	見え掛り部の材質	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			図示																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ	熱溶接工法の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																											
図示			t2.0	○有り ・ 無し ・ 有り ・ 無し																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	種類(・形状)	厚さ等																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	種類(・形状)	厚さ等																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	カーベットの種類・種別	厚さ	パイル形状等	工法																																																																																																																																																																																																																																																																																											
				・ グリップ ・ 全面接着 ・ グリップ ・ 全面接着																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	種類	表面材	操作方法	遮音性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																																																																																																																																																																																																													
材種	形状	寸法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																												
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																											
操作方式	幅及び高さ	材種	品質等	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																											
形式	開閉操作	きれ地の種別等	施工箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																											
材種	目塗り	目地の材種・厚さ等	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			図示【A- 】																																																																																																																																																																																																																																																																																												
名称	寸法	適用内容	規格・品質	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																											
流し台	図示																																																																																																																																																																																																																																																																																														
カップボード	図示																																																																																																																																																																																																																																																																																														
UB	図示																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ポスト	図示																																																																																																																																																																																																																																																																																														
材種	管の種類	呼び径	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																												
形状	寸法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	適用荷重	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																													
樹木の種類	樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	支柱の形	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																											
図示による				整備範囲は図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																											
樹種	芽立数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数																																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p>工事名称 令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事</p> <p>工事年度 令和 8 年度</p> <p>工事場所 沖縄県島尻郡渡名喜村1793番地</p> <p>図面名称 建築工事特記仕様書(その4)</p> <p>発注機関 渡名喜村 経済課</p> <p>縮尺 NO-SCALE</p> <p>摘要</p> <p>図面番号 A-04</p> <p>管理建築士 設 計 製 図</p> <p>設計者 名 称 株式会社 宮平設計</p> <p>資格者氏名 一級建築士 第350160号 徳村 泉</p> <p>登録番号 一級建築士事務所 知事登録第144-33号</p> <p>所在地 沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																															

計画地：沖縄県島尻郡渡名喜村



計画地：沖縄県島尻郡渡名喜村1793番

案内図・付近見取図 NO SCALE

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	案内図・付近見取図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	NO SCALE
摘要		図面番号	A-05
検印	管理建築士	設計	製図
		名称	株式会社 宮平設計
		資格者氏名	徳村 泉
		登録番号	1級建築士第事務所144-33号 1級建築士登録(大臣)第350160号
		所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号

■外部仕上表							
屋根	沖縄在来瓦葺き(漆喰塗)(空葺き) 改質アスファルトルーフィング貼り(粘着タイプ)22kg t12ラワン合板野地板張り、垂木 75×60(@303) 漆喰シーサー取付(現場造り、換気無し)	ポーチ	t150土間コンクリート金ゴテ押え(スロープ付き) 洗い出し仕上	囲障	石垣積み(サンゴ積み[ヒデーク])一部撤去・集積のみ 石垣積み(サンゴ積み[ヒデーク])(別途工事)	設備置場	床:土間コンクリート金ゴテ仕上げ 壁:外壁仕様同等(断熱材無し)の上 t10ケイカル板目透し張りEP塗り 天井:t10ケイカル板目透し張りEP塗り塩ビ 廻り縁
		犬走り	t150土間コンクリート金ゴテ押え 洗い出し仕上 D10@200(シングル 縦横共)	外階段	t150土間コンクリート直均し ビシャン仕上 手摺付き		
軒裏	t12ラワン合板野地板張り、φ15野地竹張り 垂木 φ60(@303)、W200 SUS製防鳥・防鼠網張り	踏石	コンクリート直均し D10@200(シングル 縦横共) (W1,800、W900)×300×H200 (4面ビシャン仕上)	庭	白砂敷き(支給品)	給気孔	φ100樹脂製開閉ブッシュ式(フィルター付き) 各居室取付(設備工事)
外壁	t100断熱材(高性能GW10kg/m3) t9.5石膏ボード(タイガ-EXハイ-同等)、透湿防水シート t15通気金物、t15杉板 縦張り WP 化粧柱 105×45 杉材 WP	雨端柱	φ150~200イヌマキ根付き(ヒノキ同等品)WP	植栽	フクギ新植(H2.0m、葉張0.5m)	空調用スリーブ	各居室取付(設備工事)
		束石(雨端柱)	φ250~300(自然石・支給品) ※雨端柱アンカー用孔開け加工	郵便ポスト	縦型ポスト(埋込型)	設備配線・配管	各居室取付(設備工事)
開口部	アルミ製(ブロンズ色)(掃き出し窓、高窓) 玄関引違戸・勝手口引戸(リクル同等品)	シーリング	サッシ廻り:変成シリコン系(MS-2)				
基礎	t150コンクリートべた基礎、t5壁薄塗モルタル塗り 基礎通気パッキン(JOTO同等品)、W100 SUS製防虫網張り						

■内部仕上表											
室名	天井高	床		巾木	壁		廻り縁	天井		備考	
		下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上		
玄関	2,760	C	300角磁器質タイル貼り (立上り含む)	7×56.5(気密タイプ)	W	t12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	上り框(付框):50×100、30×100 チーク材OS・CL塗(蹴込有り) 玄関収納(天袋、下部収納)	
ホール	2,400	W	t24ラワン合板捨張り下地 t12フクローリング(塗装品)張り	7×56.5(気密タイプ)	W	t12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り		
LDK	2,400	W	t24ラワン合板捨張り下地 t12フクローリング(塗装品)張り	7×56.5(気密タイプ)	W	t12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	流し台+ガス台(L=2,400 SUS天板)、レンジフード+吊戸棚(L=2,400) カップボード(コの字)、カウンター面台:t25御影石、t30集成材カウンター カーテンレールW	
洋室1・2	2,400	W	t24ラワン合板捨張り下地 t12フクローリング(塗装品)張り	7×56.5(気密タイプ)	W	t12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	カーテンレールW	
洗面洗濯室	2,200	W	t24ラワン合板捨張り下地 t2複層ビニル床シート貼り	7×56.5(気密タイプ)	W	t12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	ライニングカウンター面台:t21集成材飾り棚(ゴム材) 洗面台・洗濯機パン・タオル掛け(設備工事)	
トイレ	2,200	W	t24ラワン合板捨張り下地 t2複層ビニル床シート貼り	7×56.5(気密タイプ)	W	t12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	便器・ウォールキャビネット・フロアキャビネット・紙巻器(設備工事) ライニングカウンター面台:t21集成材飾り棚(ゴム材)	
浴室(UB)	—	C	ユニットバス仕様	—	W	ユニットバス仕様	—	—	ユニットバス仕様	ユニットバス:1116サイズ(浴槽無し) ※換気扇除く	
収納・押入	2,400	W	t24ラワン合板捨張り下地 t12フクローリング(塗装品)張り	7×56.5(気密タイプ)	W	t12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	枕棚、中棚、φ24ステンレス製パイプ 600角床下点検口	
床下(共通)	—	C	t40断熱材(ポリスチレンフォーム3種bA)敷込み	床束:鋼製束 大引き受け(JOTO同等品)							剛床(根太無し)床

- ・型枠は厚12mmラワン合板(JAS規格品)新品を使用する事。
- ・「コンクリート補修」とは、サンダー掛けバーライトセメント全面補修を示す。
- ・土壌処理は床下全部及び壁芯、柱芯より1mまでを範囲とし薬品はキシラモンとする。
(社)日本しろあり対策協会等の認定品を使用する。
- ・土壌処理について、井戸の使用があるため、施工前に監督員と協議を行うこと。
- ・土壌処理範囲は、厚0.15防湿シートを敷き詰めること。
- ・各種木材は充分乾燥した物及び防虫、防蟻、JAS第1種加圧処理材を使用する事。
- ・室内に面する仕上げ(材料及び塗装)は、シックハウス対策品(F☆☆☆☆)とし、試験成績書、大臣認定書を提出する事。
- ・室内に面する仕上げに使用する接着剤は、シックハウス対策品(F☆☆☆☆)とし、試験成績書、大臣認定書を提出する事。

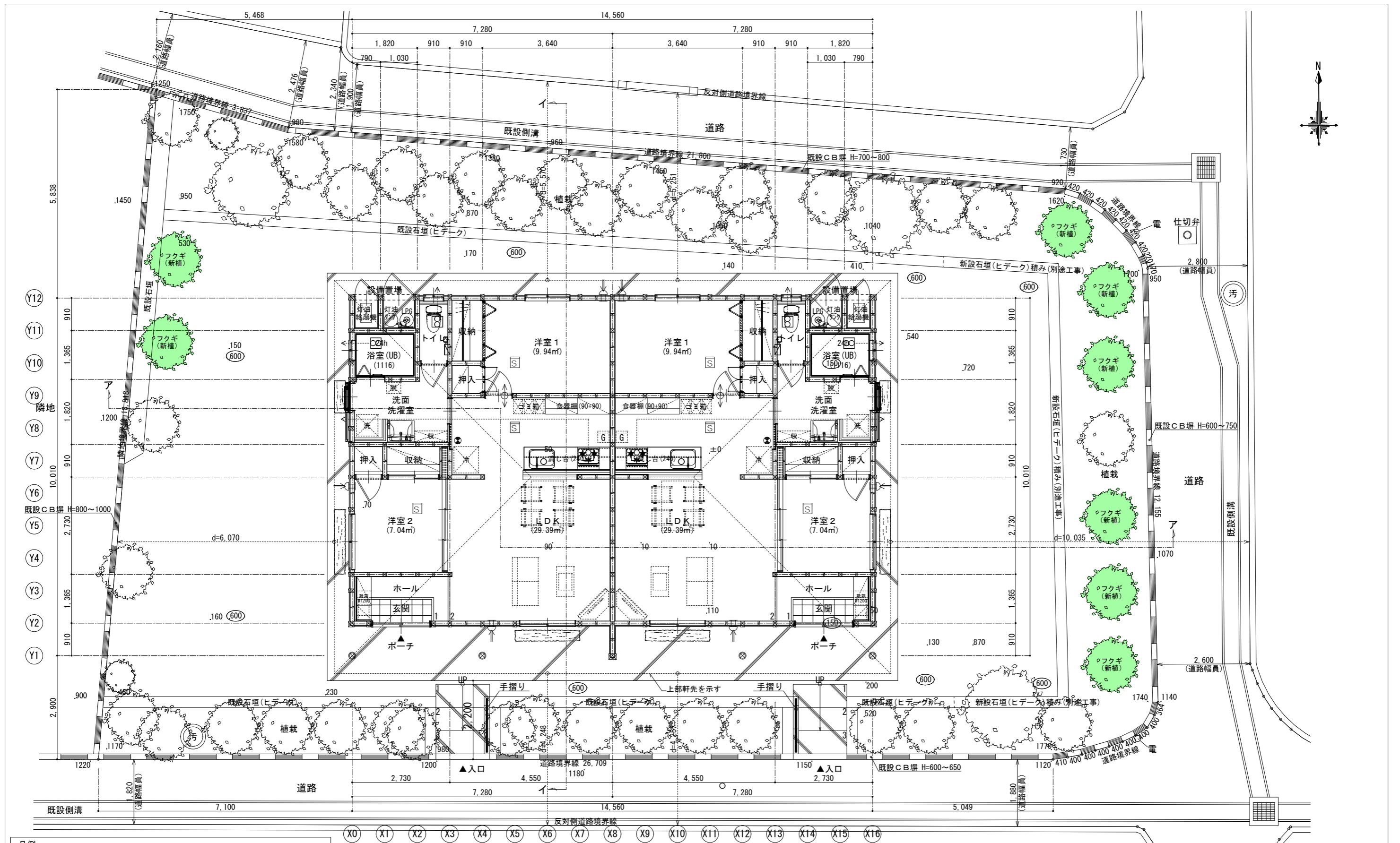
- ・仕上材料はすべて見本品を提出して、係員の承諾を得る事。
- ・配管等が耐火構造等の防火区画を貫通する場合は、当該管と防火区画との隙間を不燃材料で埋める。
(建令112-15)
- ・風道等が耐火構造等の防火区画を貫通する場合は、その部分又はこれに近接する部分に防火ダンパーを設ける。
(建令112-16)
- ・耐火構造等の防火区画を貫通する配管等は、その貫通部分から両側1m以内の部分は不燃材料とする。
(建令129の2の5-1-7-イ)
- ・延焼の恐れのある部分の開口部は防火設備とする。
(建令109-1)
- ・延焼の恐れのある部分の100cmを超える換気孔、排気孔は防火ダンパー付とし、100cm以下は防火覆
(H12建告1369)

- ・タイル目地材は防かび性能を有すること。
- ・コンクリート打設後の養生はシート等で覆い湿潤養生を基本とする。
- ・床下地木組は、剛床(根太無し工法)とし、土台・大引(共通):桧105×105@910とする。
- ・各住戸の間を区切る壁は界壁仕様とし、遮音性能や耐火性能を有する仕様とする。
(法30条、令22条の3、令114条)
- ・内部造作材は、特記なき限り「タケン造作部材同等品」とする。
- ・アルミ引違い窓及び掃き出し窓全て(LDK・和室・洋室)に、アルミ製カーテンレール(ダブル)を取り付ける。(建具幅+200mm)
- ・高性能GW(ガラスウール)はすべて防湿フィルム袋入りとし、施工に際しては気密性の確保に十分留意し、隙間なく充填を行うこと。袋はカットせず使用し、やむを得ずカットする場合は、補強テープ等により袋状を維持し、GWの気密層が確保できるよう施工する事。

- 玄関収納(天袋W1200×H570×D405、下部収納W1200×H863×D405)(タケン同等品)
- 流し台セットL=2,400(建築工事)(BL認定品、タラスタンダード同等品)
- カップボード(900+900)(建築工事)(タラスタンダード同等品)
- ユニットバス1116サイズ(浴槽無し)(建築工事)(タラスタンダード同等品)
- 集成材カウンター(ゴム材)(タケン同等品)
- ライニングカウンター面台:t21集成材飾り棚(ゴム材)(タケン同等品)
- 巾木・廻り縁(気密タイプ)(タケン同等品)
- 窓枠・可動棚その他造作材(タケン同等品)
- カーテンレールW:装飾レール、木目、サイドカバー付き(好カ同等品)
- ポスト:縦型ポスト160×364×450(リクル同等品)

■凡例(下地・仕上)					
C	コンクリート	MDF	熱圧成形中質繊維板	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り
CB	コンクリートブロック	PB	石膏ボード	OS	オイルステイン塗り
W	木製床組・木製軸組	GW	ガラスウール	CL	クリアラッカー塗り
S	鋼製床組	WP	木材保護塗料塗り	PU	ポリウレタン3回塗り
LGS	軽量鉄骨	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	RE	複層仕上塗材

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事			工事年度	令和8年度	
	工事場所	渡名喜村1793番地			図面名称	仕上表
発注機関		渡名喜村 経済課			縮尺	—
	摘要				図面番号	A-07
検印		管理建築士	設計	製図	設計者	名称
				資格者氏名		徳村 泉
				登録番号		1級建築士第事務所144-33号 1級建築士登録(大臣)第350160号
				所在地		沖縄県那覇市首里山川町3丁目6番9号



凡例

	(24h換気)換気扇 (第三種 全般換気型)		住宅用消火器 4型
	換気扇 (第三種 局所換気型)		火災警報器 (煙感知器)
	自然 給気口		ガス感知器
	建具下通気有り (7ヶ所・カト有(1・7のみ) (7ヶ所・カト:10mm以上確保)		

配置図兼 1階平面図 S=1/100

- 木造平屋建て
- 建築面積 : 138.46m²
- 床面積 : 132.48m²

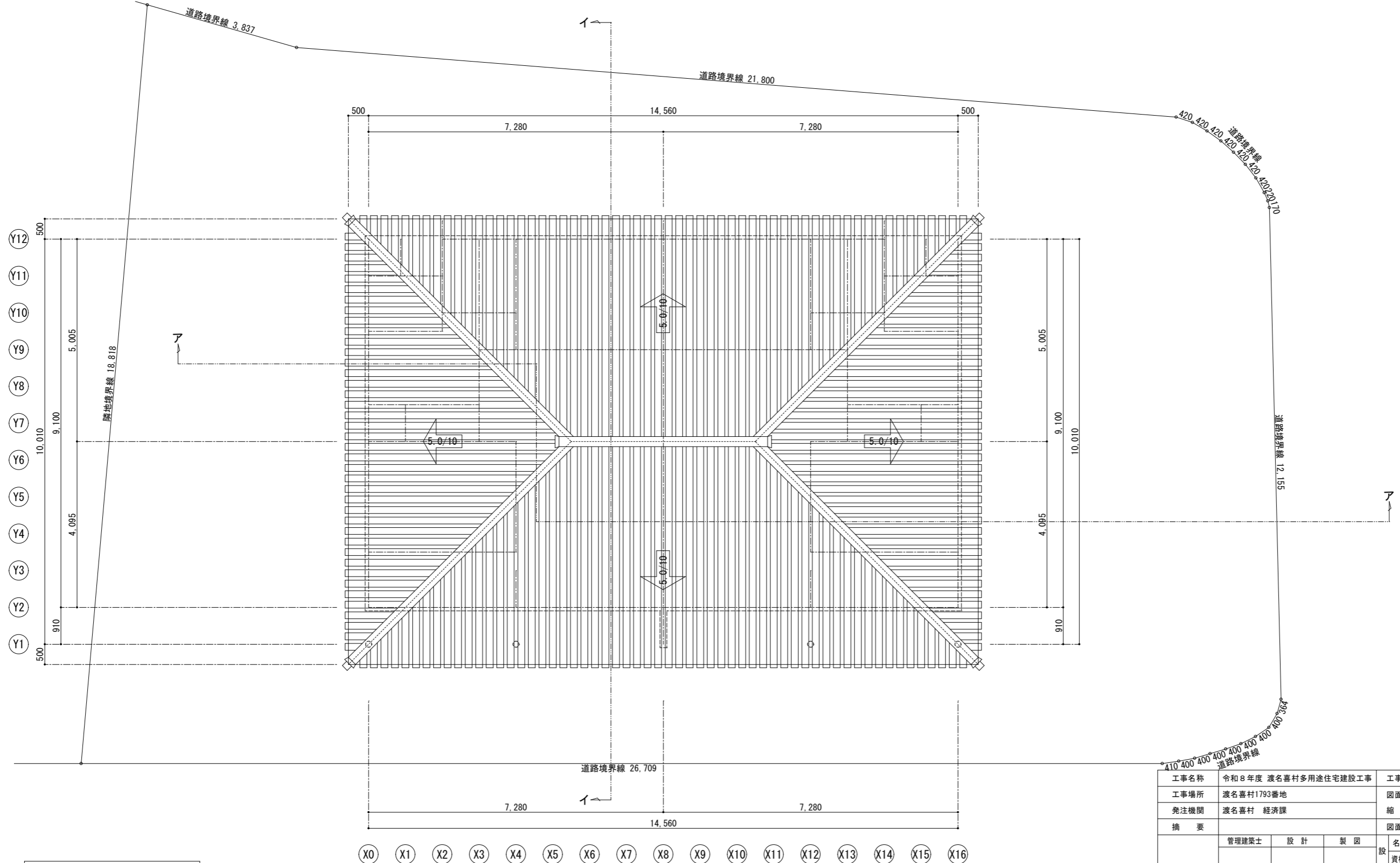
200 : 現況地盤レベルを示す
 600 : 計画地盤レベルを示す
 設計G.L=600

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	配置図兼1階平面図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:100
摘要		図面番号	A-08
検印	管理建築士	設計	製図
	資格者氏名	株式会社 宮平設計	
	登録番号	徳村 泉	
	所在地	1級建築士事務所 144-33号 1級建築士登録(大臣) 第350160号 沖縄県那覇市首里山崎3丁目1番9号	

法規チェック図

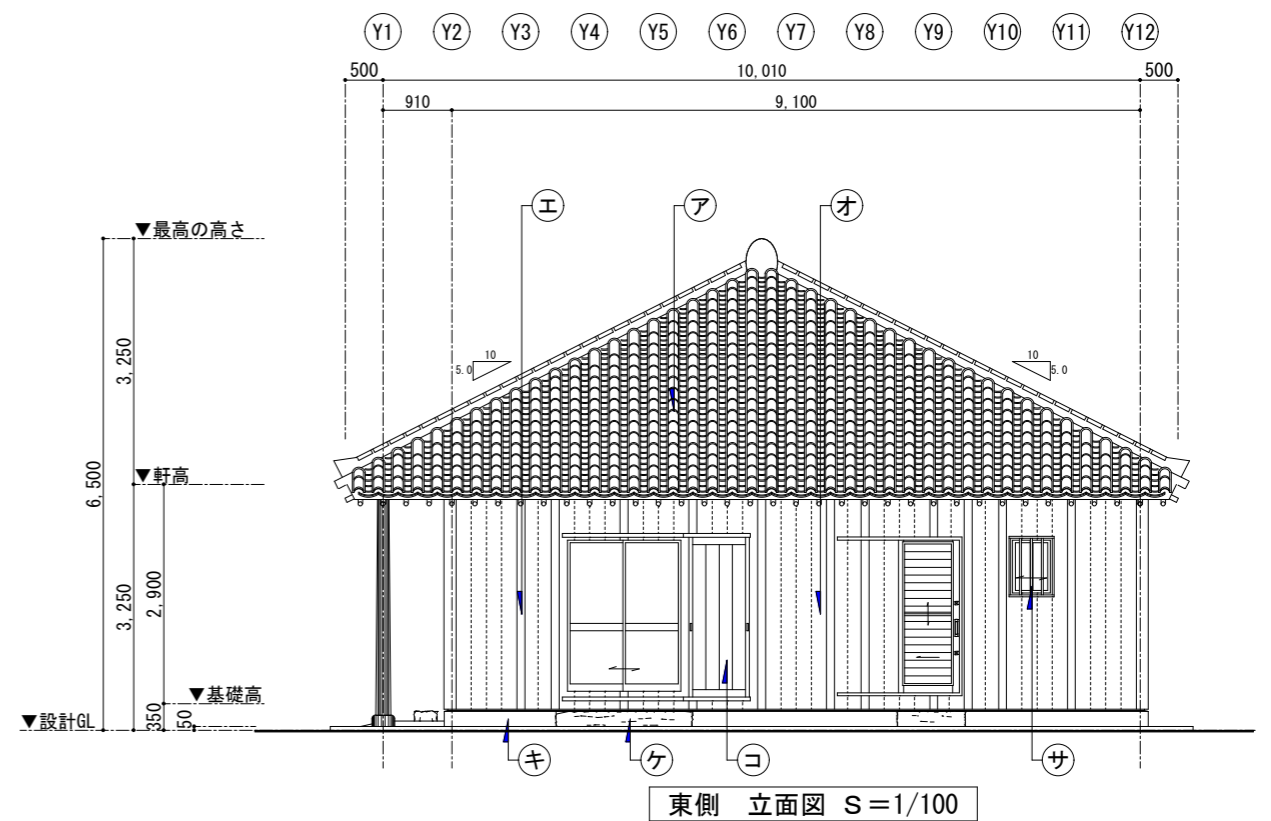
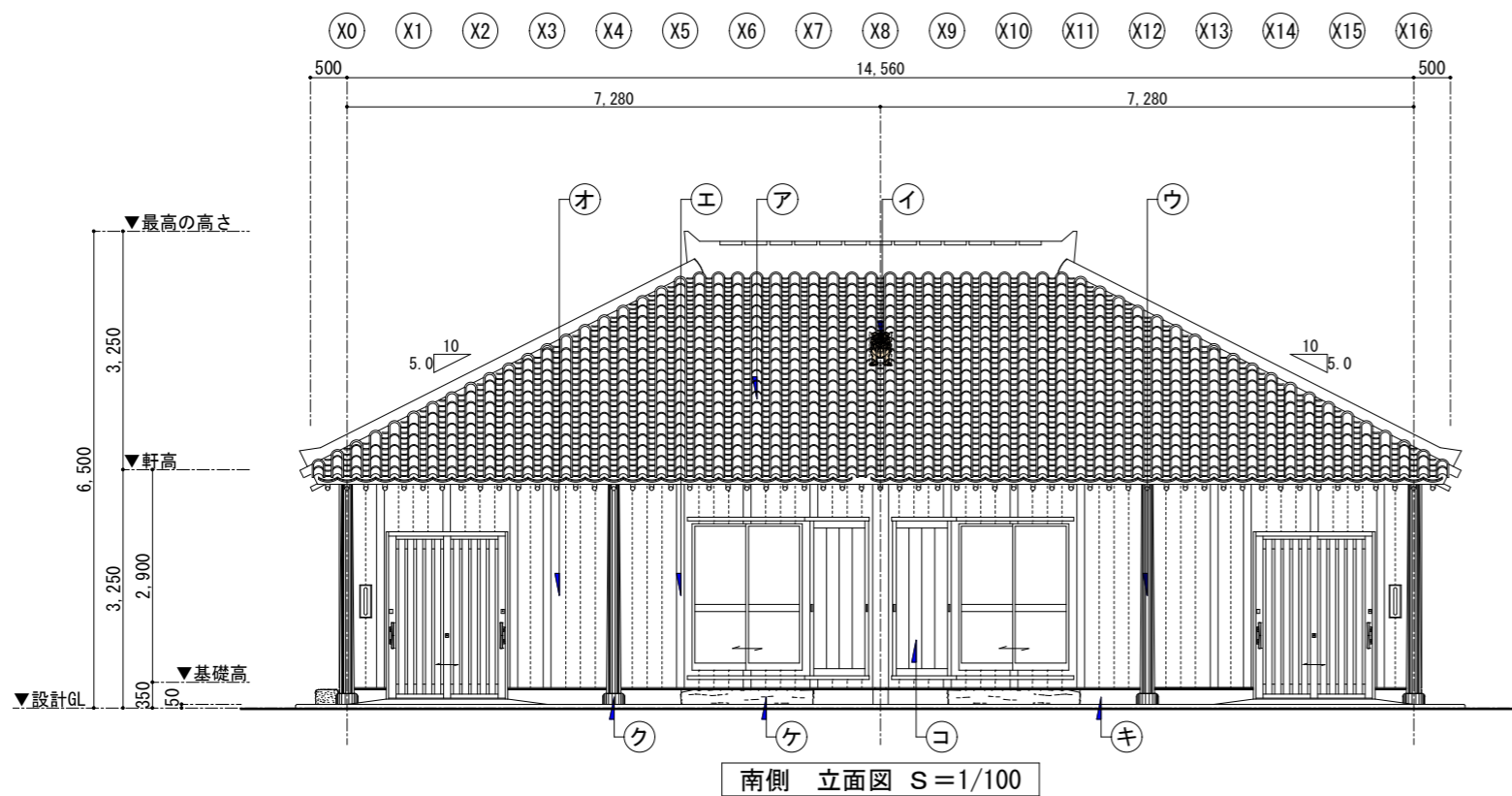
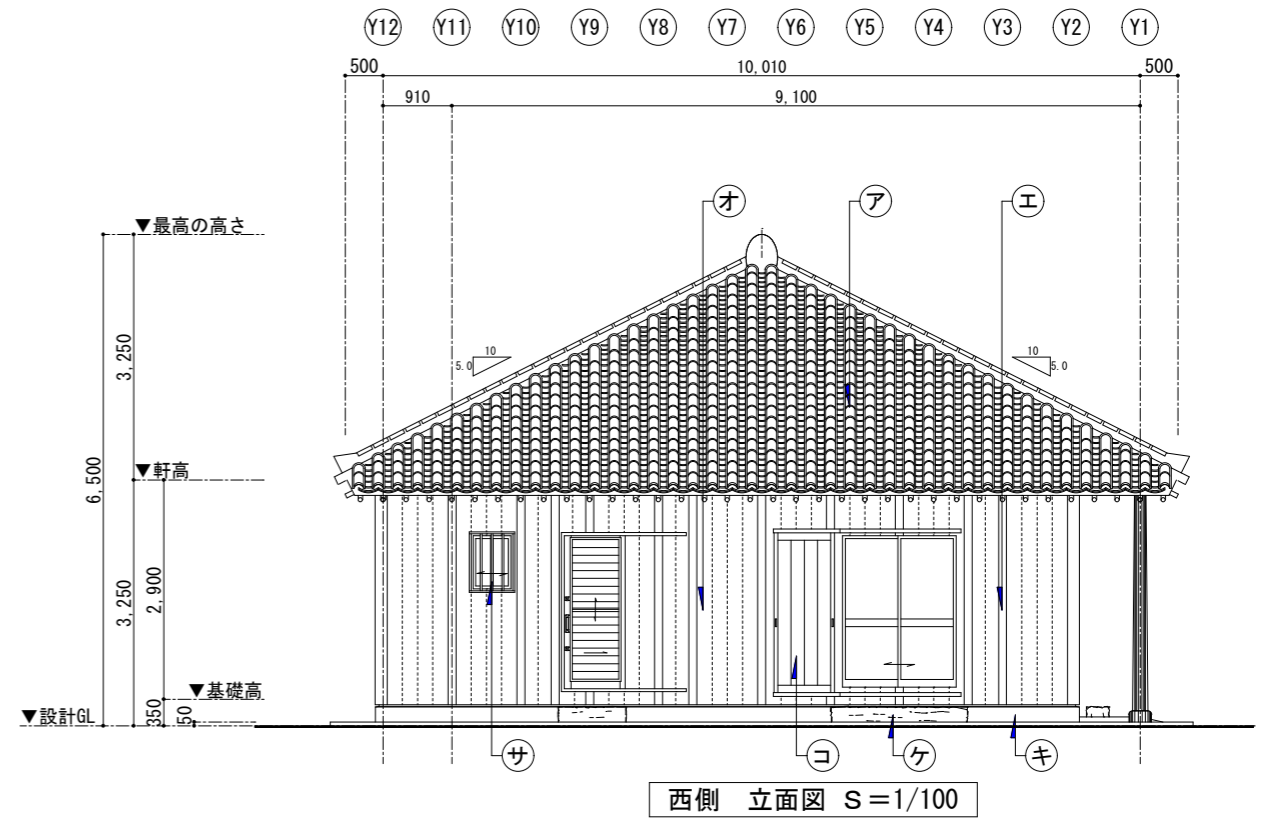
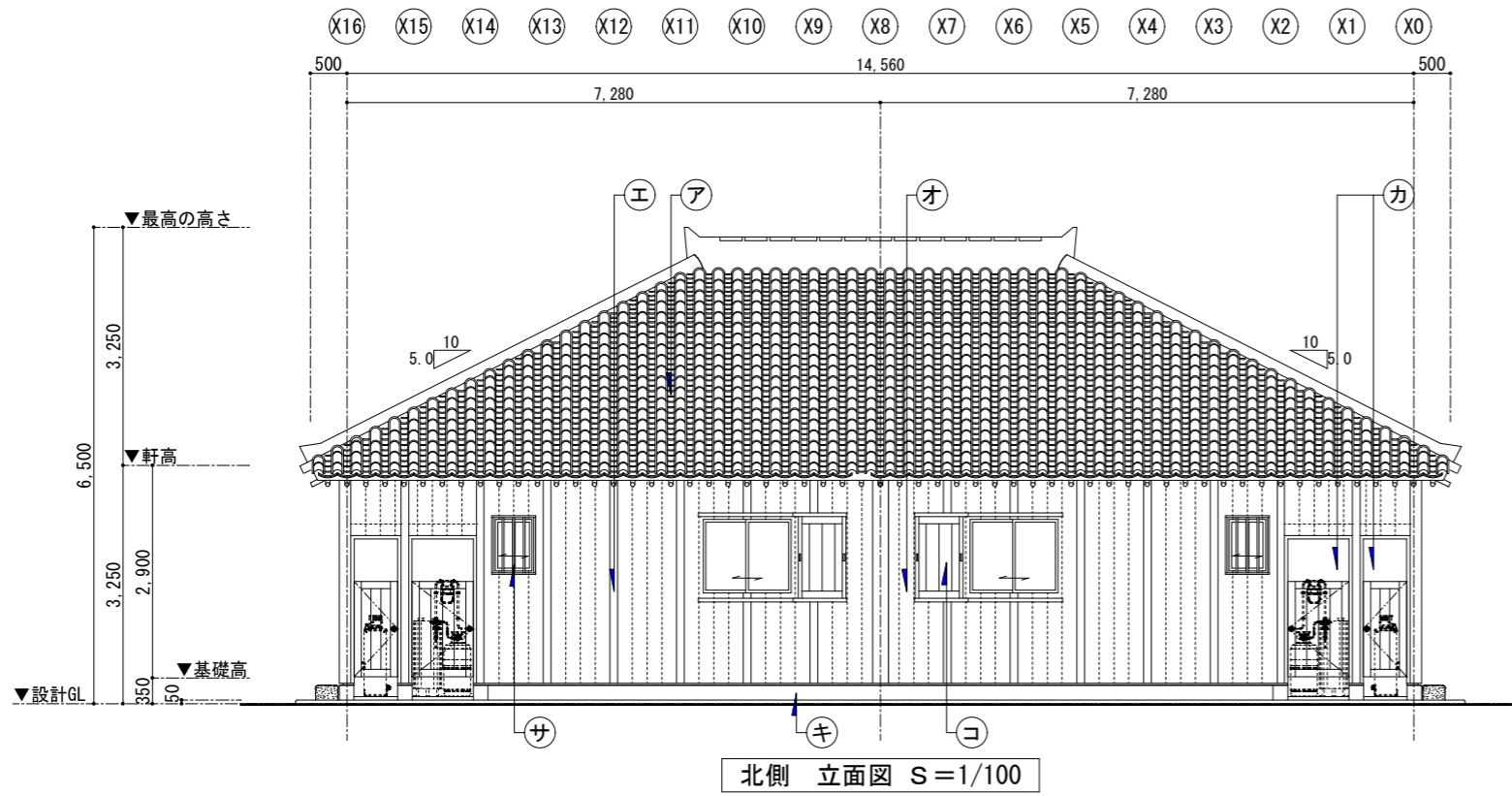


採光チェック表【法28、令19~20】※水平距離：配置図を参照（最も厳しい部分）※垂直距離：断面図を参照（最も厳しい部分）※採光補正係数：（水平距離÷垂直距離×10-1）																		換気チェック表【法22、令20の2~3】					
棟	室名	床面積	割合	建具名	W	H	数量	縁側	天窗	道路	水平距離(d)	垂直距離(h)	採光補正係数	開口率	採光有効面積	採光有効面積合計	判定	必要採光面積	割合	有効窓面積	有効窓面積合計	判定	必要採光面積
西	LDK	29.39	1/7	AE	1.50	2.00	1	無	無	有	4.24	1.73	3.00	1.0	9.00	9.00	>	4.20	1/20	1.50	1.50	>	1.47
	洋室1	9.94	1/7	AE	1.20	1.00	1	無	無	有	5.57	1.23	3.00	1.0	3.60	3.60	>	1.42	1/20	0.60	0.60	>	0.50
	洋室2	7.04	1/7	AE	1.50	2.00	1	無	無	無	6.07	1.73	3.00	1.0	9.00	9.00	>	1.01	1/20	1.50	1.50	>	0.36
東	LDK	29.39	1/7	AE	1.50	2.00	1	無	無	有	4.25	1.73	3.00	1.0	9.00	9.00	>	4.20	1/20	1.50	1.50	>	1.47
	洋室1	9.94	1/7	AE	1.20	1.00	1	無	無	有	5.25	1.23	3.00	1.0	3.60	3.60	>	1.42	1/20	0.60	0.60	>	0.50
	洋室2	7.04	1/7	AE	1.50	2.00	1	無	無	有	10.03	1.73	3.00	1.0	9.00	9.00	>	1.01	1/20	1.50	1.50	>	0.36



屋根伏図 S=1/100

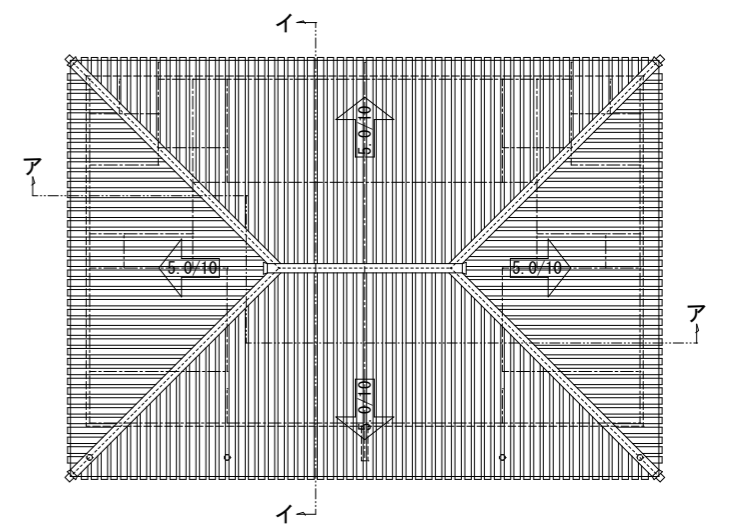
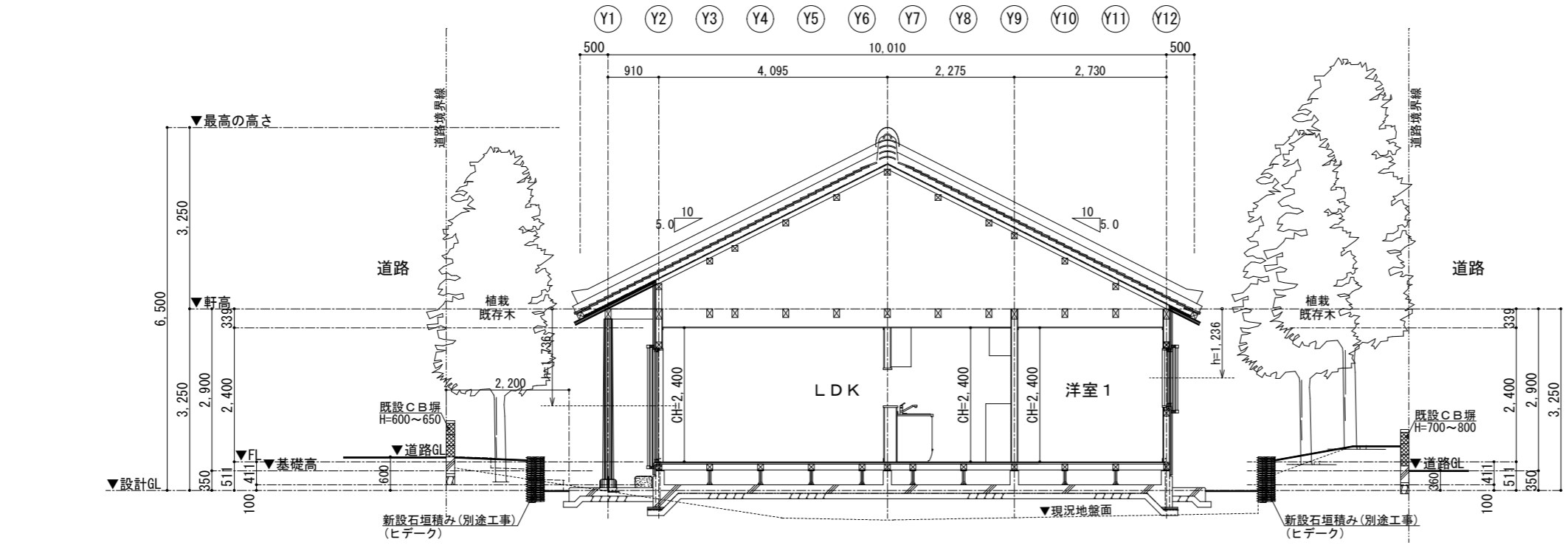
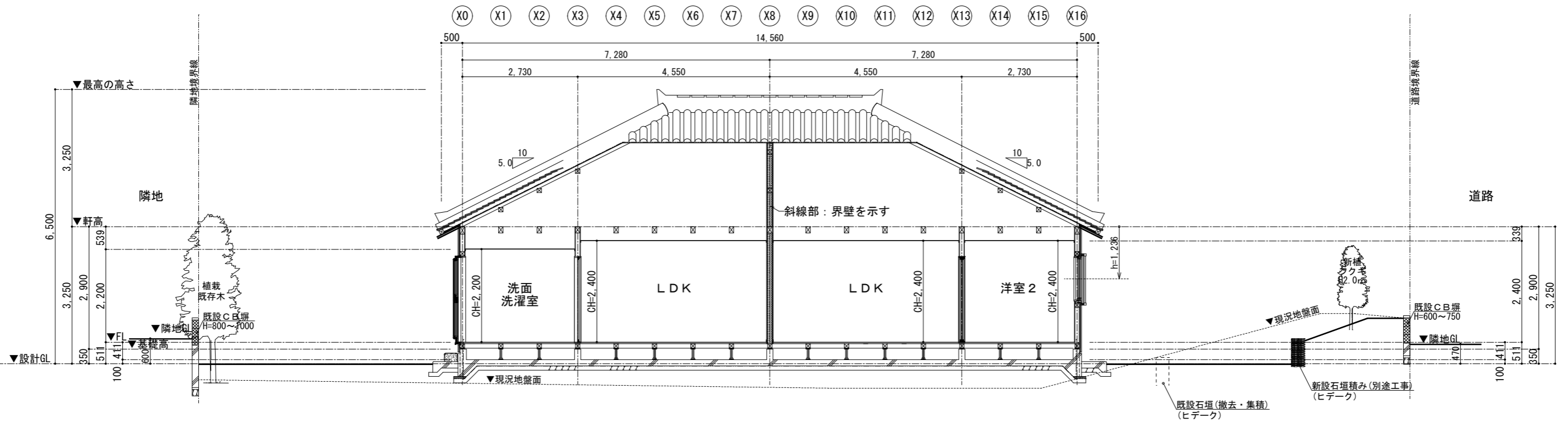
工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	屋根伏図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:100
摘要	図面番号 A-09		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	徳村 泉	
	登録番号	1級建築士第事務所 144-33号 1級建築士登録(大臣) 第350160号	
所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号		



■仕上凡例

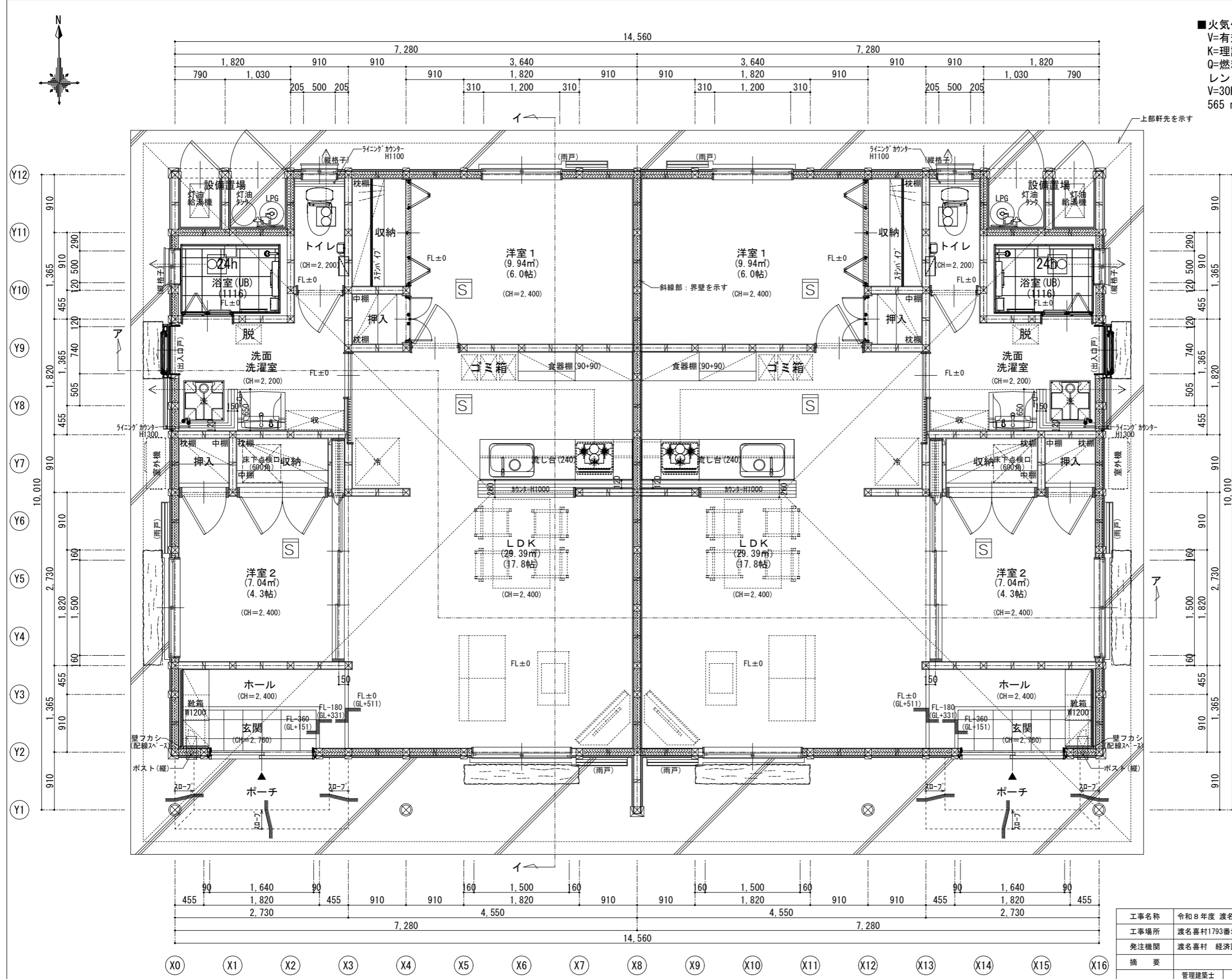
ア	屋根	沖縄在来瓦葺き (漆喰塗り)	エ	化粧柱	杉材WP	キ	基礎立上	コンクリート打放し補修 薄付モルタル塗り仕上	コ	雨戸	杉材WP	備考 ※外壁塗装色は、監督員と協議の上 決定とする。 ※外部に取付ける設備機器は、床及び 壁に緊結に固定を行う。
イ	装飾	シーサー取付 (現場造り付 換気無し)	オ	外壁1	t15杉板縦張りWP	ク	束石	φ250~300 自然石 (支給品・要加工)	サ	格子	アルミ面格子(縦)	
ウ	雨端柱	φ150~200イヌマキ根付 (ヒノキ同等品)WP	カ	外壁2	t10ケイ加板目透し張りEP	ケ	踏石	コンクリート打設 4面 ビシャン仕上				

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	立面図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:100
摘要		図面番号	A-10
検印	管理建築士	設計	製図
名称	株式会社 宮平設計	資格者氏名	徳村 泉
登録番号	1級建築士第事務所144-33号	登録番号	1級建築士登録(大臣)第350160号
所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号		



工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	断面図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:100
摘要		図面番号	A-11
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	徳村 泉	
	登録番号	1級建築士第事務所 144-33号 1級建築士登録(大匠) 第350160号	
所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号		

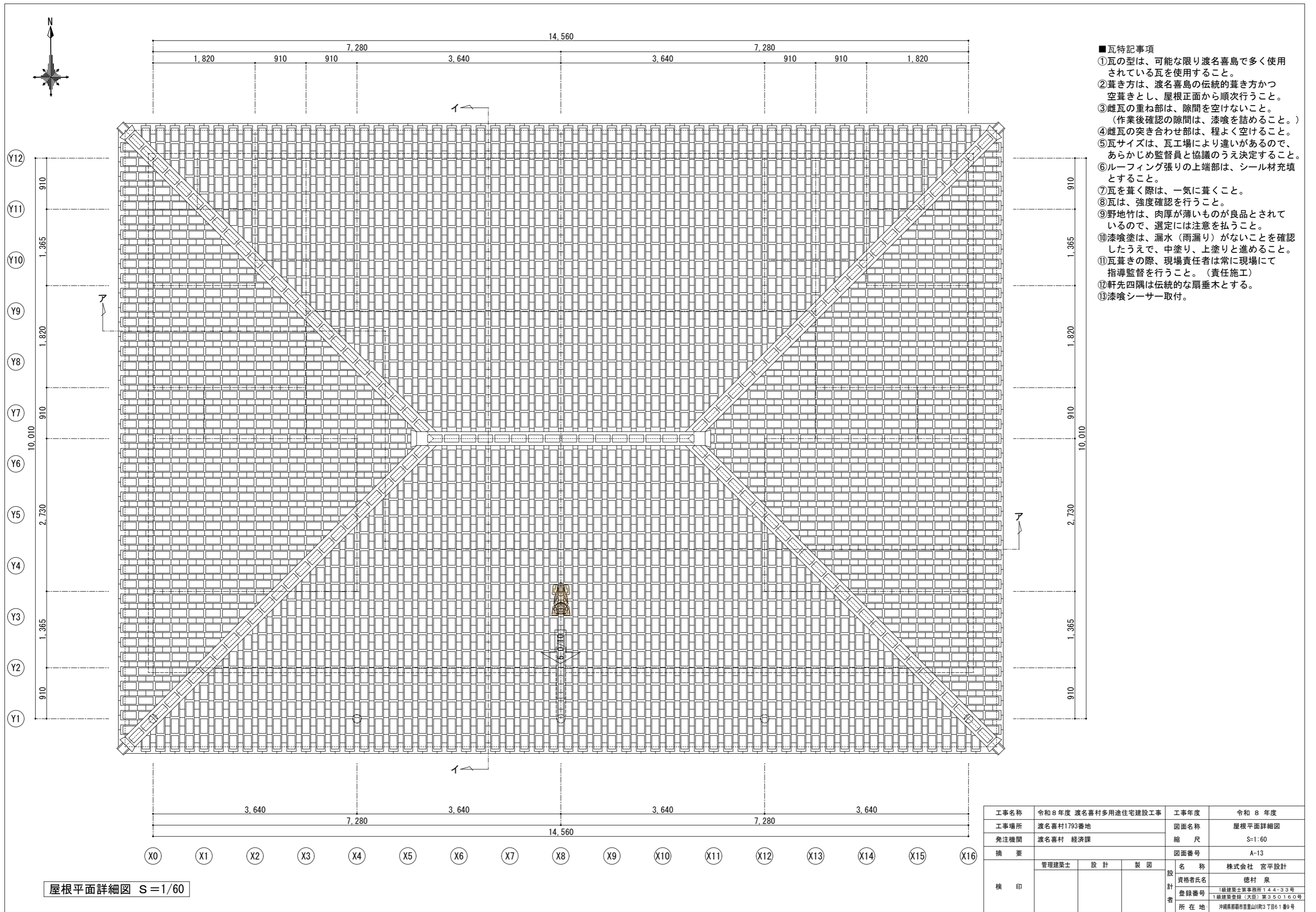
■火気使用室の換気計算【法28】
 V=有効換気量
 K=理論廃ガス量(LPガス) = 0.93 m3/kW時
 Q=燃料消費量 = 11.89 kW・kg/時
 レンジフード換気風量(強) = 565 m3/h
 $V=30KQ=30 \times 0.93 \times 11.89 = 331.73 \text{ m3/h}$
 565 m3/h > 331.73 m3/h ∴ OK



■: 外壁断熱材充填位置を示す。

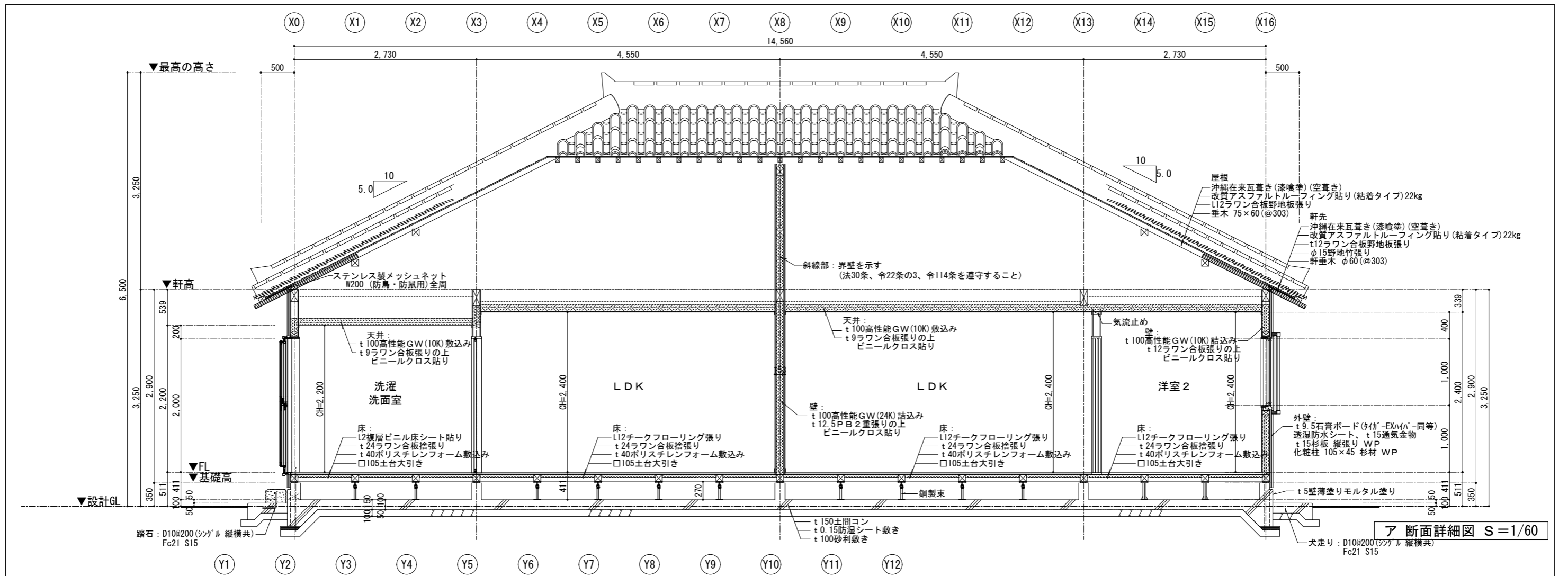
1階平面詳細図 S=1/60

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	1階平面詳細図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1/60
摘要	図面番号 A-12		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	徳村 泉	
	登録番号	1級建築士第3550160号	
所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目6番9号		

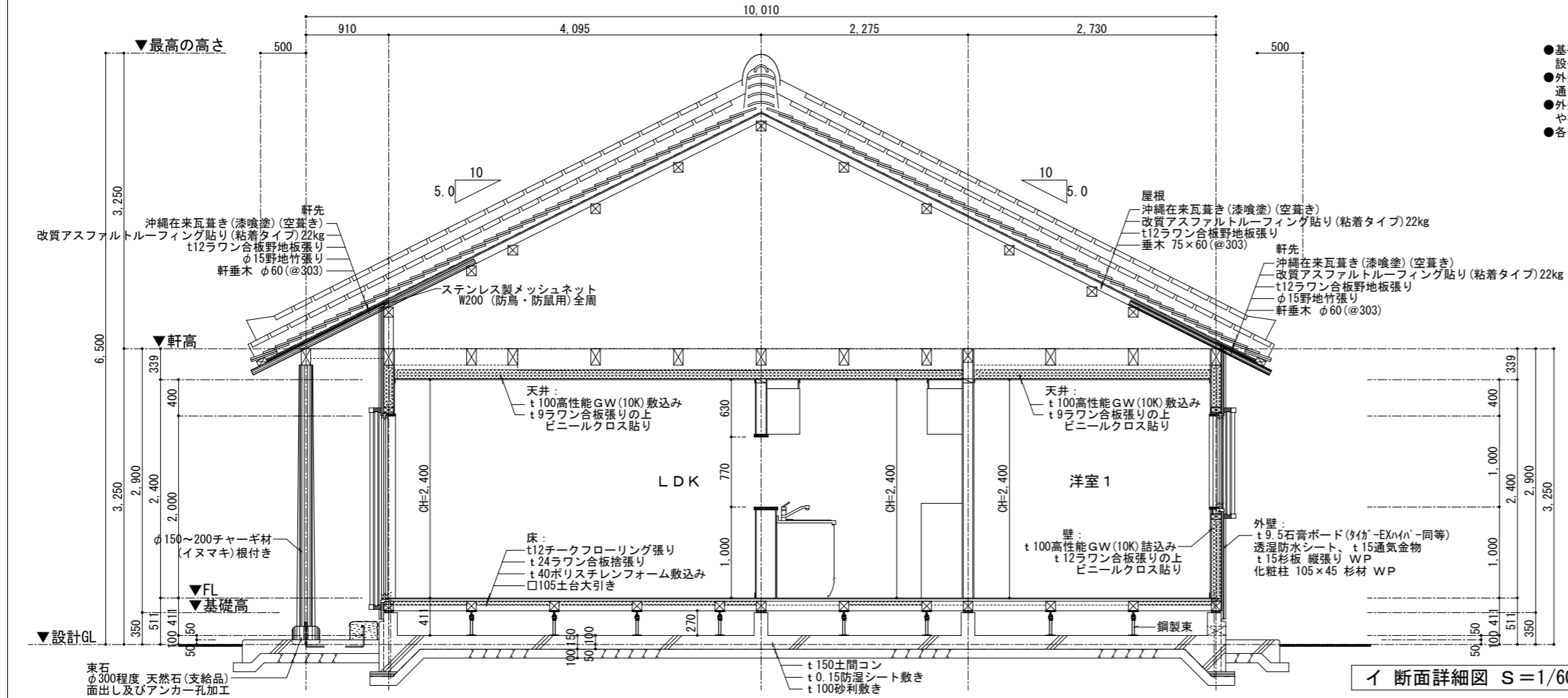


工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	屋根平面詳細図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1/60
摘要		図面番号	A-13
検印	管理建築士	設計	製図
		名称	株式会社 宮平設計
		資格者氏名	徳村 泉
		登録番号	1級建築士第事務所144-33号 1級建築士(大臣)第350160号
		所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号

屋根平面詳細図 S=1/60



ア断面詳細図 S=1/60
犬走り：D10@200(ツガ)縦横共 Fc21 S15

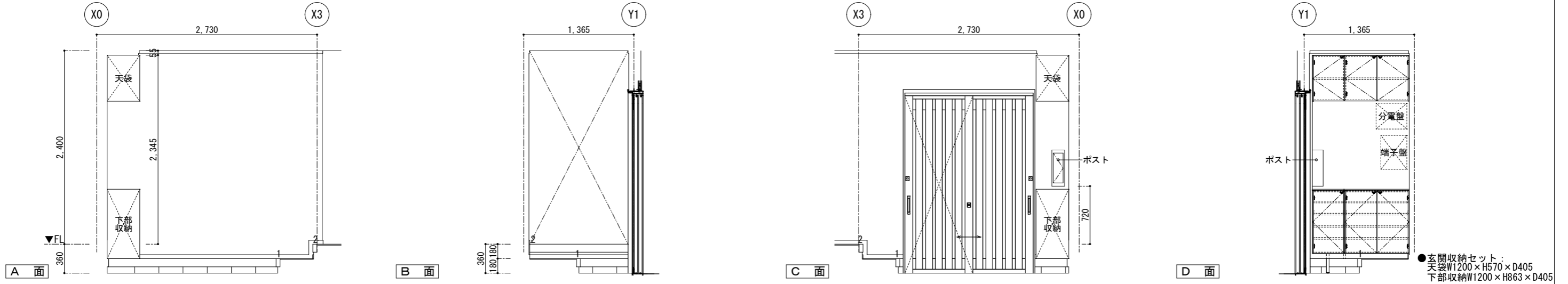


イ断面詳細図 S=1/60

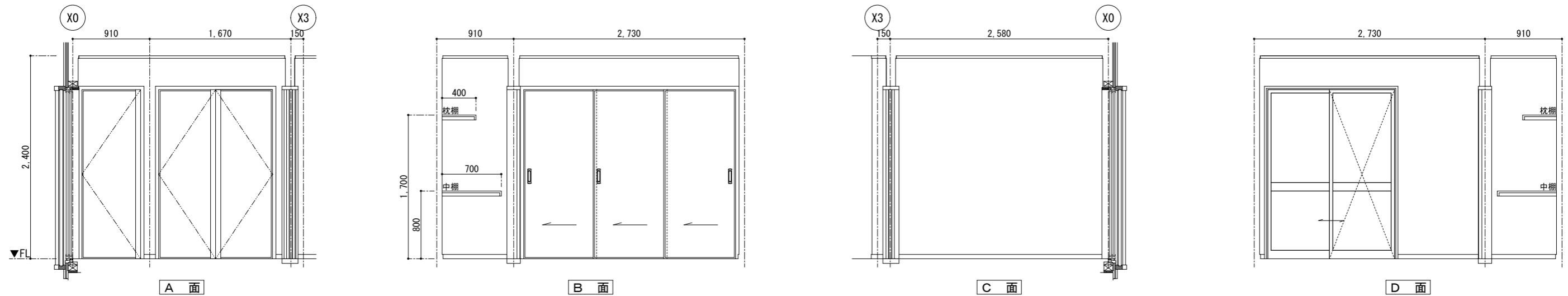
- 基礎立上り部分に適宜φ100水抜き孔(SUS蓋付)を設け、工事中の雨水排水や漏水時水抜き、設備メンテナンスとしても使用できるようにすること。
- 外壁は通気工法となるため、通気金物を使用すること。やむを得ず下地鋼線を設ける場合は、通気の妨げとならないよう通り道を確保するなど係員と調整を行うこと。
- 外壁の見え掛り部分にクギやビスなどを施工する場合は、極力目立たないようダボ埋めや接着剤等の処理を行うこと。
- 各部断熱材は隙間なく充填し、気流の流れを遮断し、ヒートブリッジとなる経路を作らない事。

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	断面詳細図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:60
摘要		図面番号	A-14
検印	管理建築士	設計	製図
	資格者氏名	株式会社 宮平設計	
	登録番号	1級建築士第事務所 144-33号	
	所在地	1級建築士登録(大臣)第350160号 沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号	

室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
玄関・ホール	2.760	C	300角磁器質タイル貼り (立上り含む)	7×56.5(気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	上り框(付框):50×100 チーク材 OS・CL塗(蹴込有り) 玄関収納(天袋、下部収納)

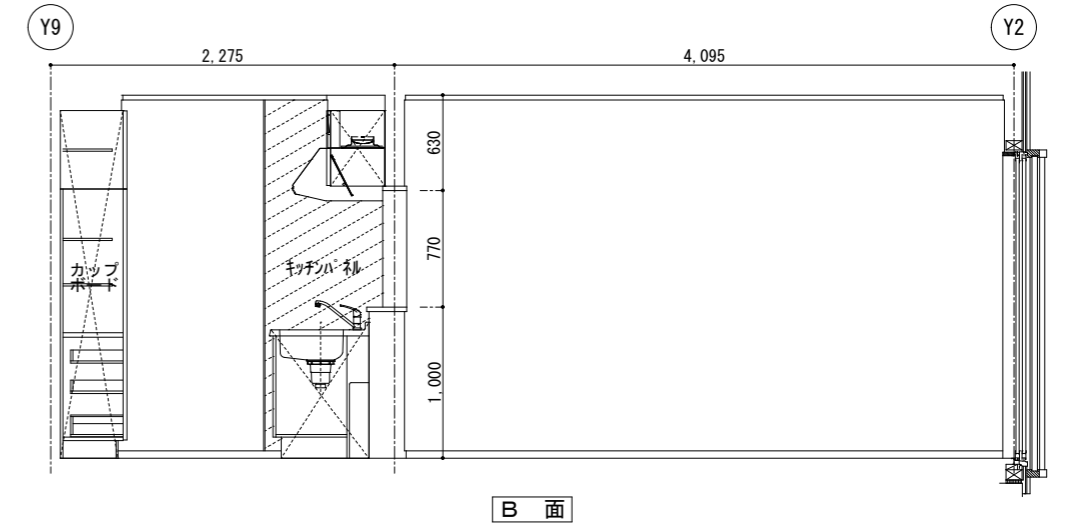
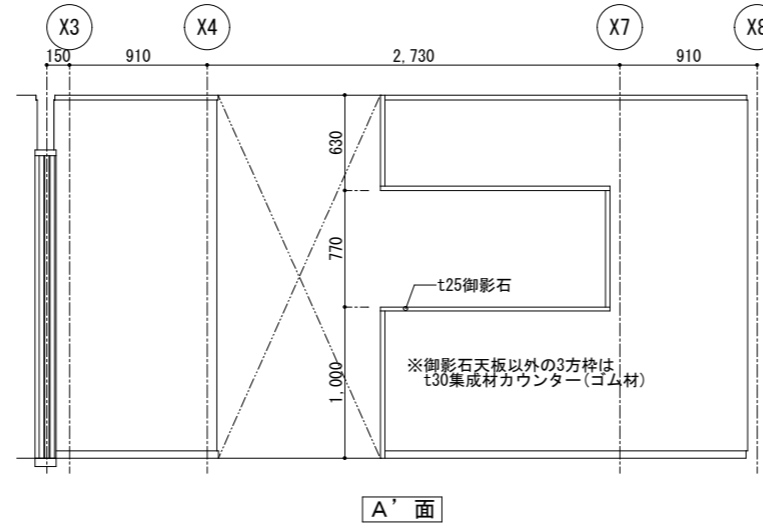
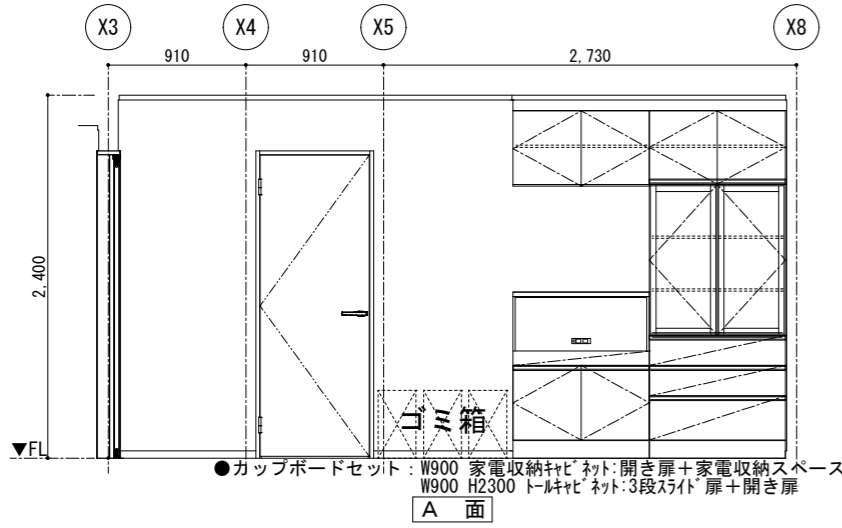


室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
洋室2	2.400	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 15チークフローリング(塗装品)張り	7×56.5(気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	カーテンレールW

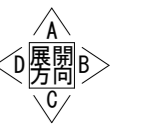
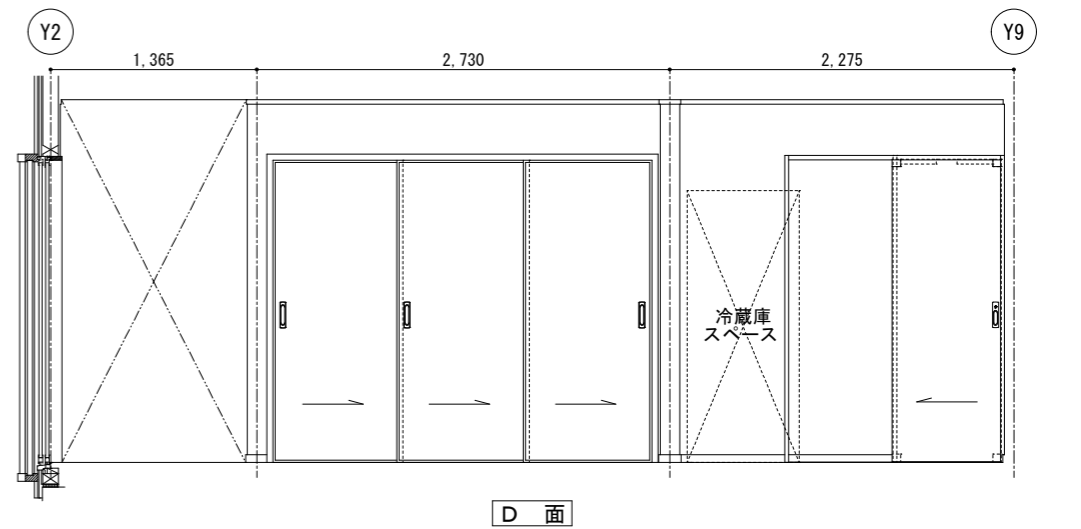
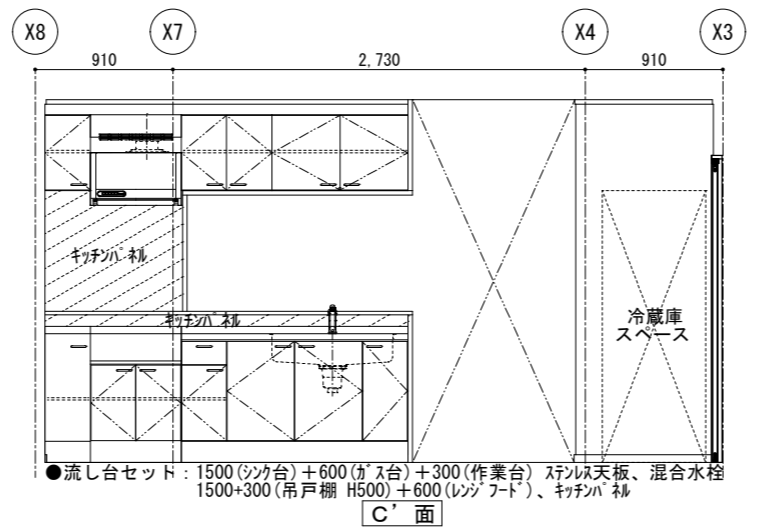
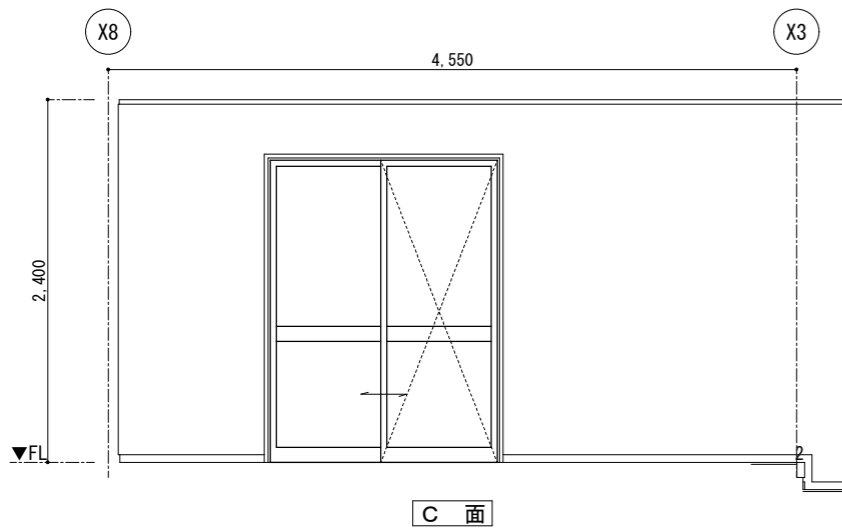


工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	展開図1(西側)
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:50
摘要		図面番号	A-15
検印	管理建築士	設計	製図
		名称	株式会社 宮平設計
		資格者氏名	徳村 泉
		登録番号	1級建築士第事務所144-33号 1級建築士登録(大臣)第350160号
		所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号

室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
LDK	2,400	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 15チークフローリング(塗装品)張り	7×56.5(気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	流し台+ガス台(L=2,400 SUS天板)、レンジフード+吊戸棚(L=2,400) カップボード(コの字)、カウンター面台:t25御影石、集成材カウンター カテンレールW

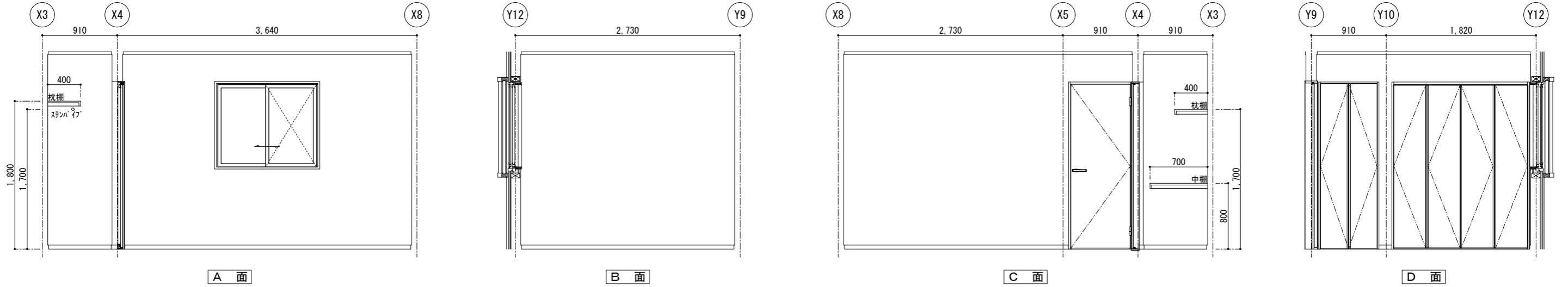


室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
LDK	2,400	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 15チークフローリング(塗装品)張り	7×56.5(気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	流し台+ガス台(L=2,400 SUS天板)、レンジフード+吊戸棚(L=2,400) カップボード(コの字)、カウンター面台:t25御影石、集成材カウンター カテンレールW

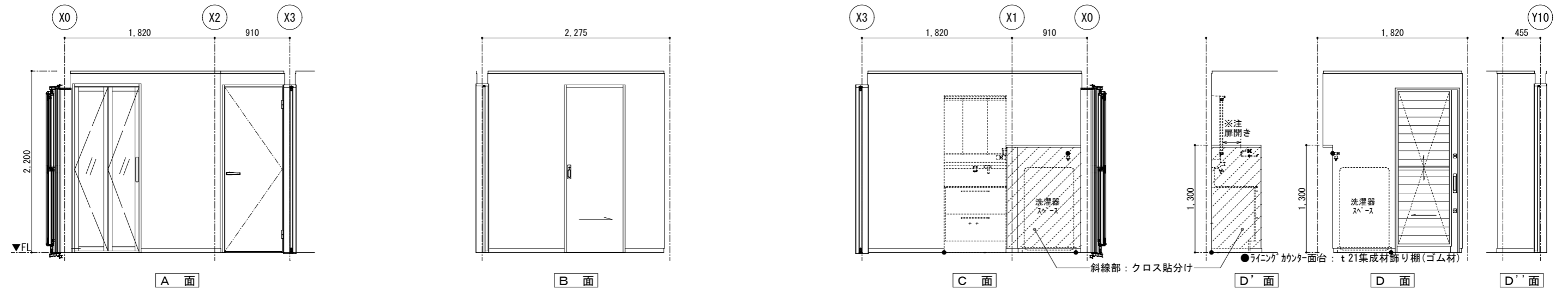


工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	展開図2(西側)
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:50
摘要		図面番号	A-16
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	徳村 泉	
	登録番号	1級建築士第事務所 144-33号 1級建築士登録(大臣) 第350160号	
所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号		

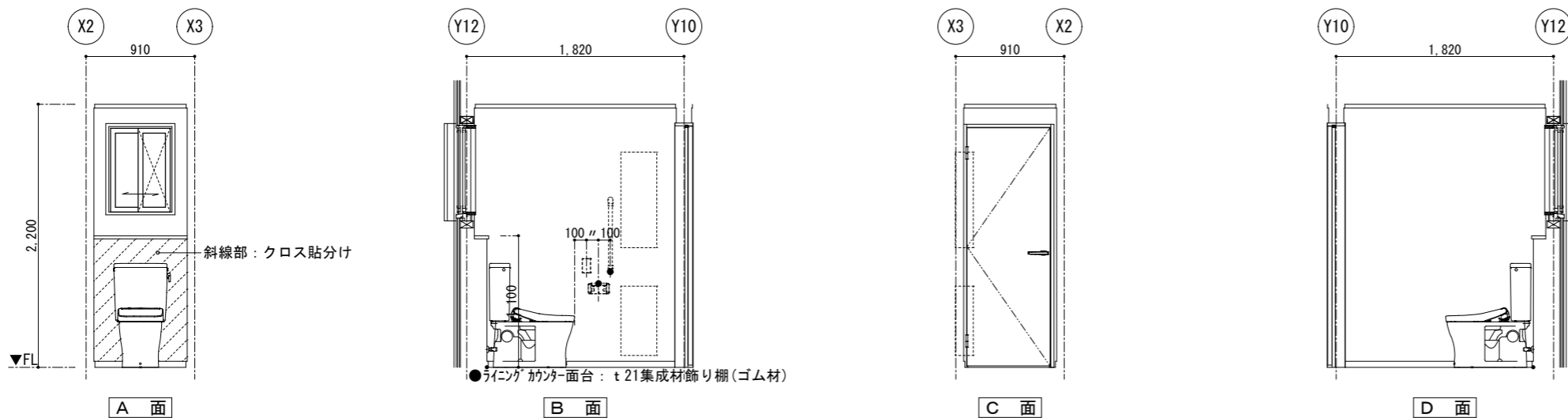
室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
洋室1	2.400	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 15フクローリング [®] (塗装品) 張り	7×56.5 (気密タイプ [®])	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5 (気密タイプ [®])	W	t 100断熱材 (高性能GW10kg/m ³) 敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	カーテンレールW



室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
洗面洗濯室	2.200	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 2複層ビニル床シート貼り	7×56.5 (気密タイプ [®])	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5 (気密タイプ [®])	W	t 100断熱材 (高性能GW10kg/m ³) 敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	ライニングカウンター面台: t 21集成材飾り棚 (ゴム材) 洗面台・洗濯機パン・タオル掛け (設備工事)

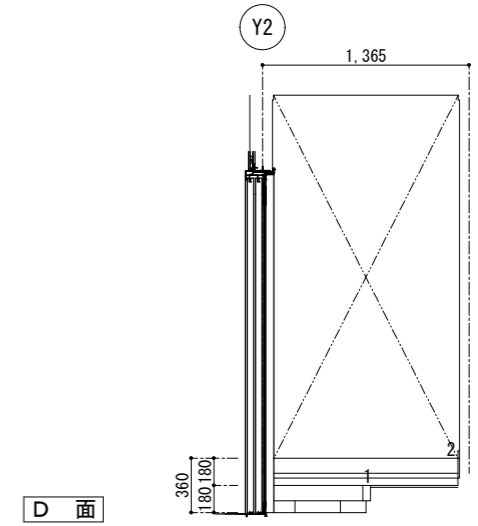
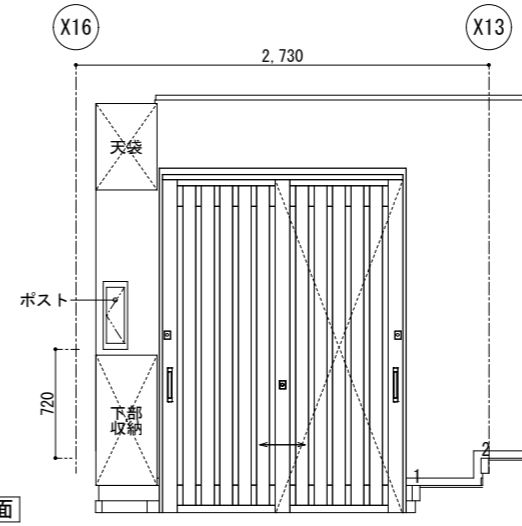
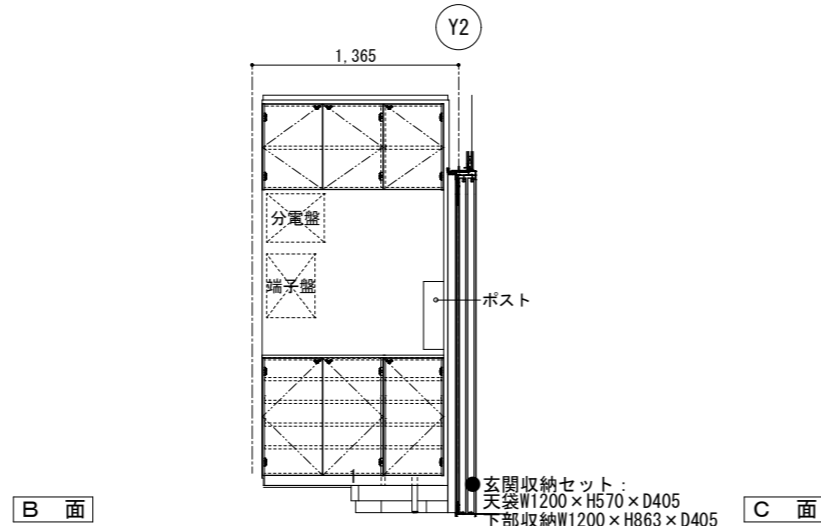
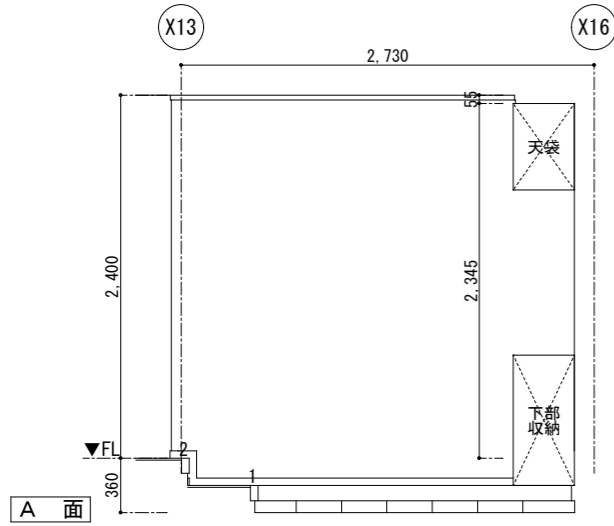


室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
トイレ	2.200	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 2複層ビニル床シート貼り	7×56.5 (気密タイプ [®])	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5 (気密タイプ [®])	W	t 100断熱材 (高性能GW10kg/m ³) 敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	便器・ウォールキャビネット・フロアキャビネット・紙巻器 (設備工事) ライニングカウンター面台: t 21集成材飾り棚 (ゴム材)

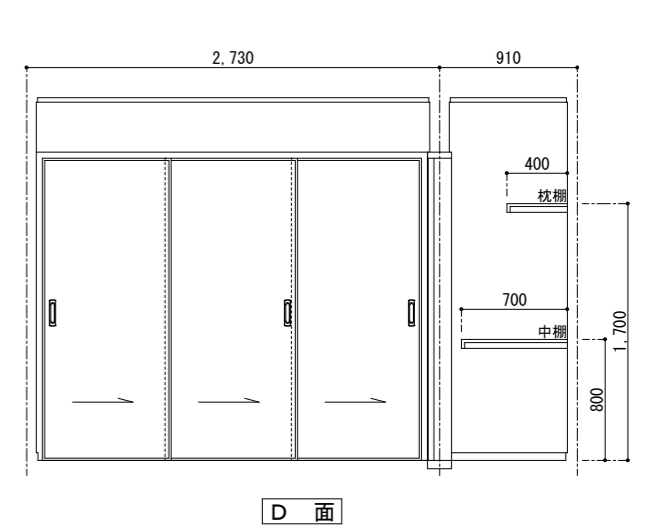
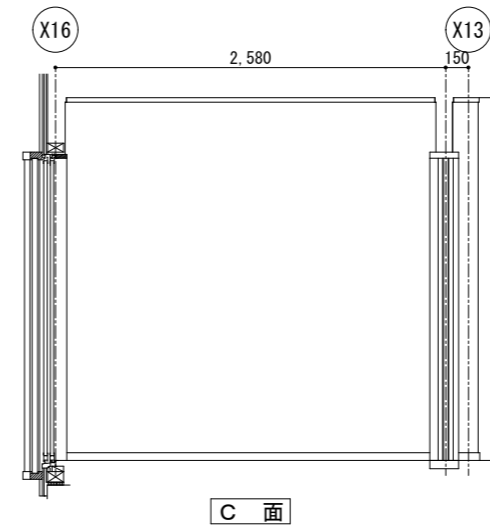
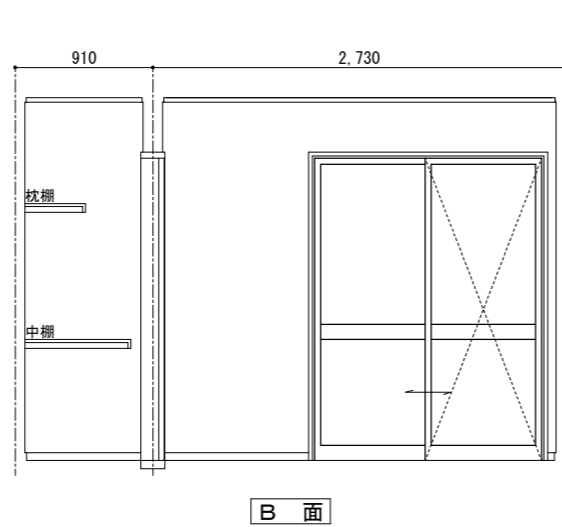
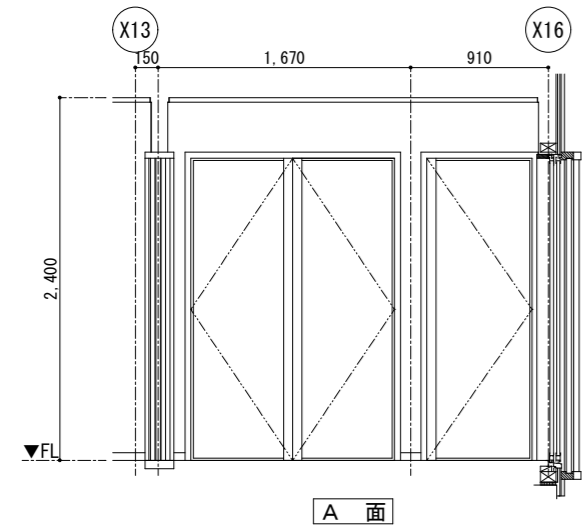


工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	展開図3 (西側)
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:50
摘要		図面番号	A-17
検印	管理建築士	設計	製図
		名称	株式会社 宮平設計
		資格者氏名	徳村 泉
		登録番号	1級建築士第事務所 144-33号 1級建築士登録 (大臣) 第350160号
		所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号

室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
玄関・ホール	2.760	C	300角磁器質タイル貼り (立上り含む)	7×56.5(気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	上り框(付框):50×100 チーク材 OS・CL塗(蹴込有り) 玄関収納(天袋、下部収納)

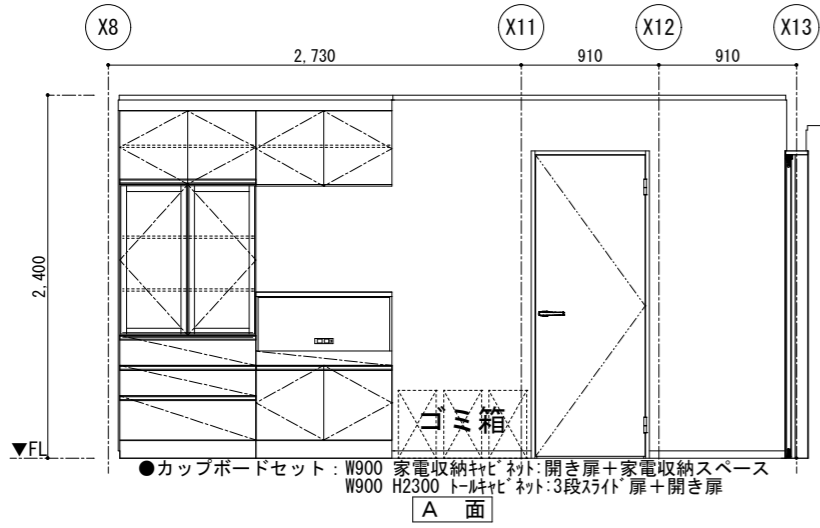


室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
洋室2	2.400	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 15チークフローリング(塗装品)張り	7×56.5(気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	カーテンレールW

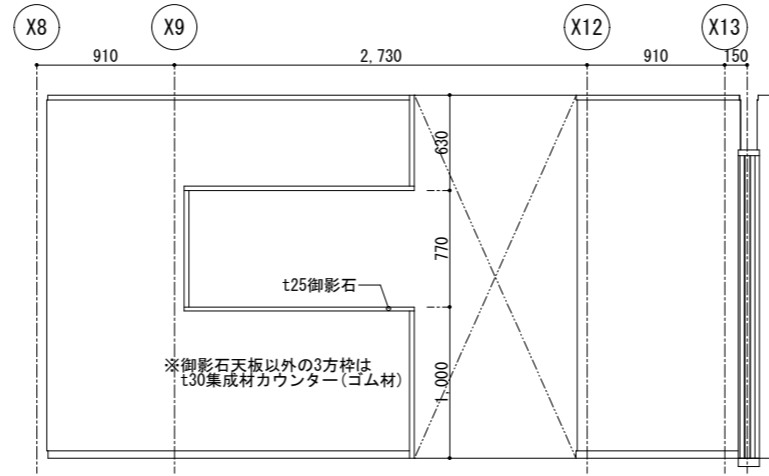


工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	展開図4(東側)
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:50
摘要		図面番号	A-18
検印	管理建築士	設計	製図
		名称	株式会社 宮平設計
		資格者氏名	徳村 泉
		登録番号	1級建築士第事務所144-33号 1級建築士(大臣)第350160号
		所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号

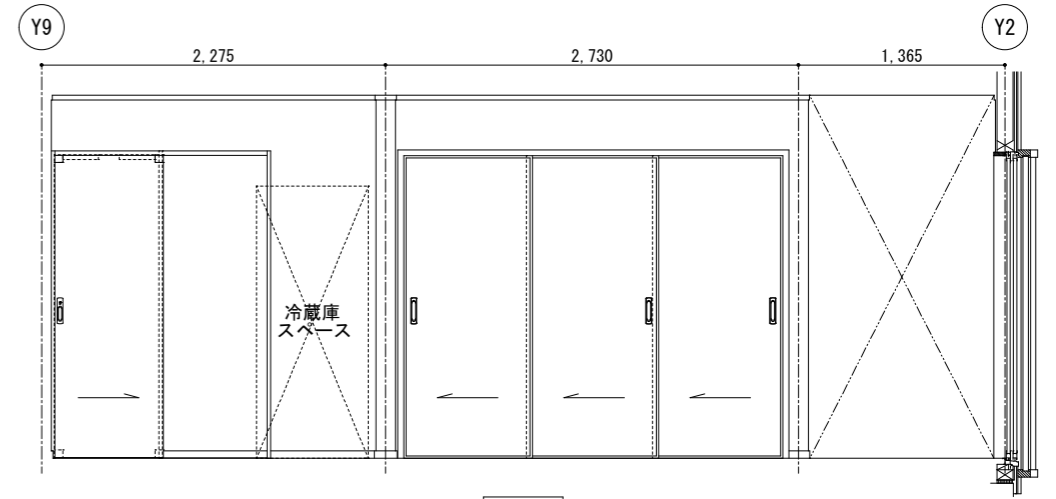
室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
LDK	2.400	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 15フクローリング (塗装品) 張り	7×56.5 (気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5 (気密タイプ)	W	t 100断熱材 (高性能GW10kg/m3) 敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	流し台+ガス台 (L=2,400 SUS天板)、レンジフード+吊戸棚 (L=2,400) カップボード (コの字)、カウンター面台: t25御影石、集成材カウンター カテンールW



A' 面

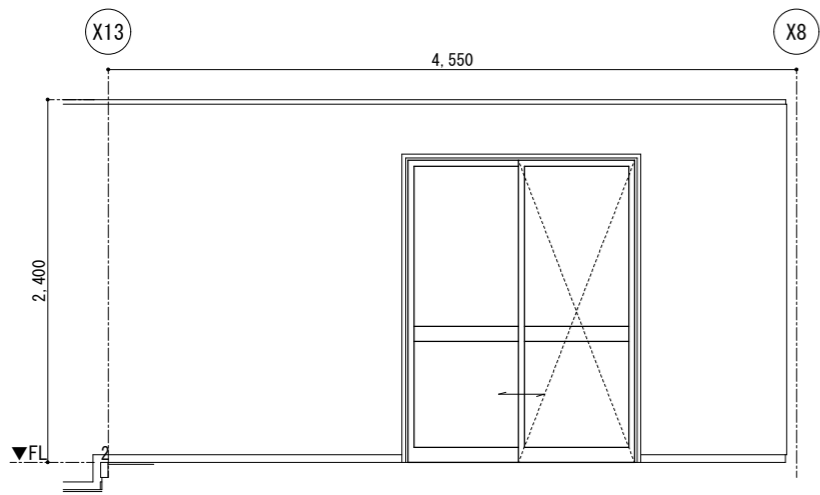


A' 面

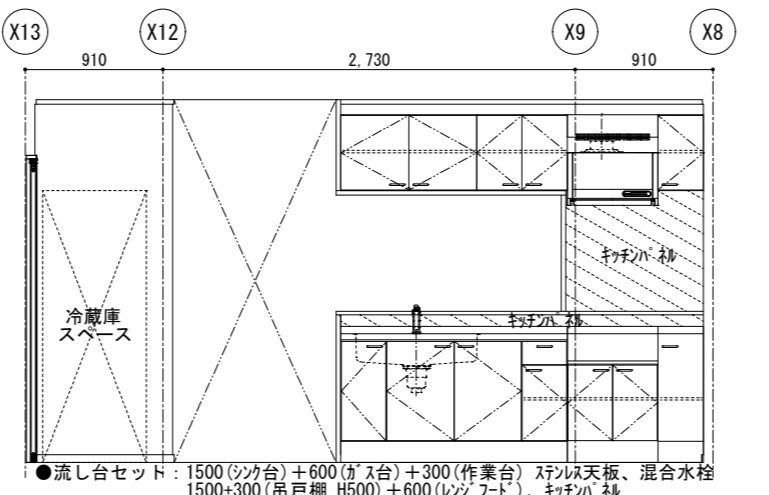


B' 面

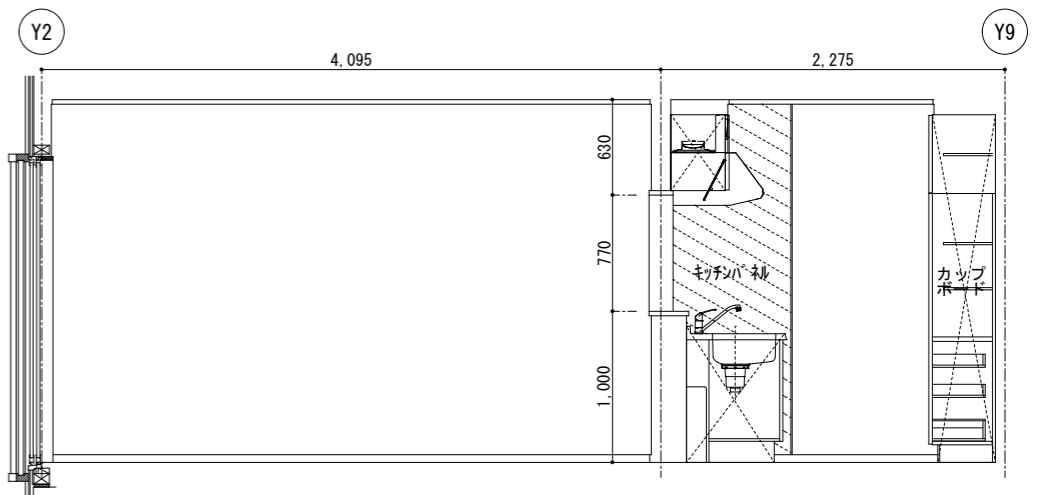
室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
LDK	2.400	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 15フクローリング (塗装品) 張り	7×56.5 (気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5 (気密タイプ)	W	t 100断熱材 (高性能GW10kg/m3) 敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	流し台+ガス台 (L=2,400 SUS天板)、レンジフード+吊戸棚 (L=2,400) カップボード (コの字)、カウンター面台: t25御影石、集成材カウンター カテンールW



C' 面



C' 面

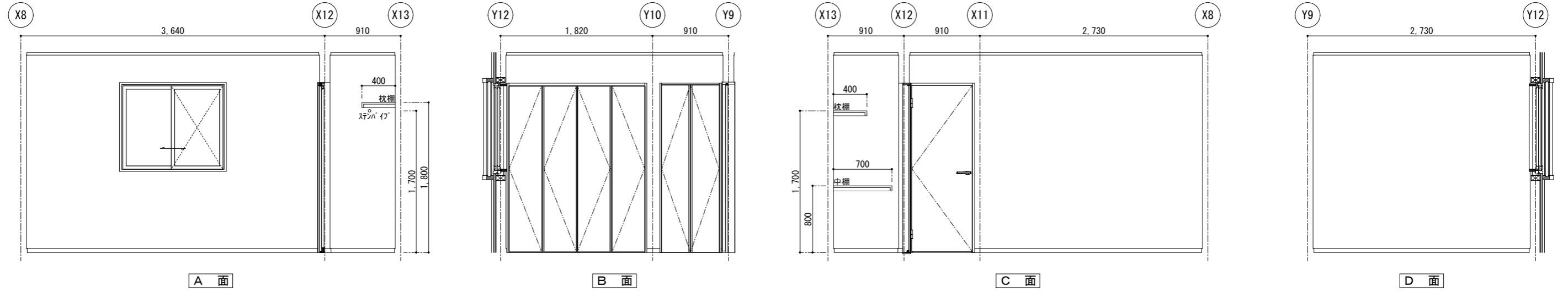


D' 面

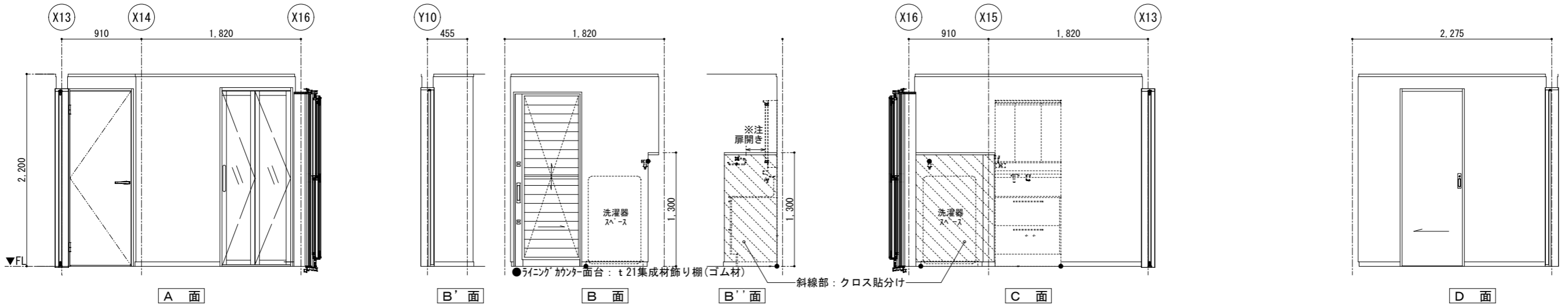


工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	展開図5 (東側)
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:50
摘要		図面番号	A-19
検印	管理建築士	設計	製図
		名称	株式会社 宮平設計
		資格者氏名	徳村 泉
		登録番号	1級建築士第事務所 144-33号 1級建築士登録 (大臣) 第350160号
		所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号

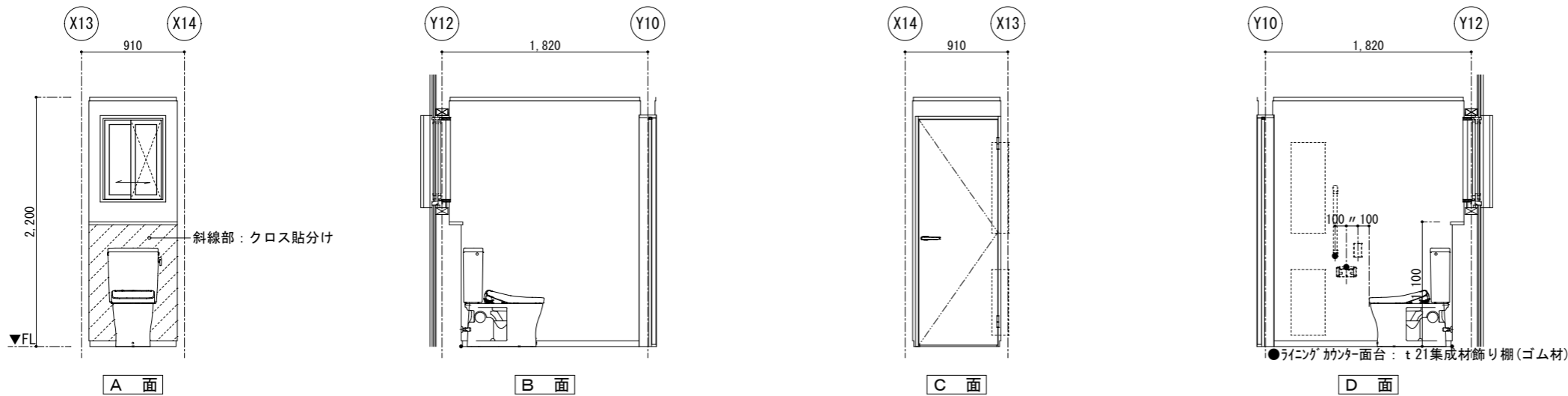
室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
洋室1	2.400	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 15チークフローリング(塗装品)張り	7×56.5(気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	カーテンレールW



室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
洗面洗濯室	2.200	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 2複層ビニル床シート貼り	7×56.5(気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	ライニングカウンター面台: t 21集成材飾り棚(ゴム材) 洗面台・洗濯機パン・タオル掛け(設備工事)





室名	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	廻り縁	下地	天井	備考
トイレ	2.200	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 2複層ビニル床シート貼り	7×56.5(気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	便器・ウォールキャビネット・フロアキャビネット・紙巻器(設備工事) ライニングカウンター面台: t 21集成材飾り棚(ゴム材)

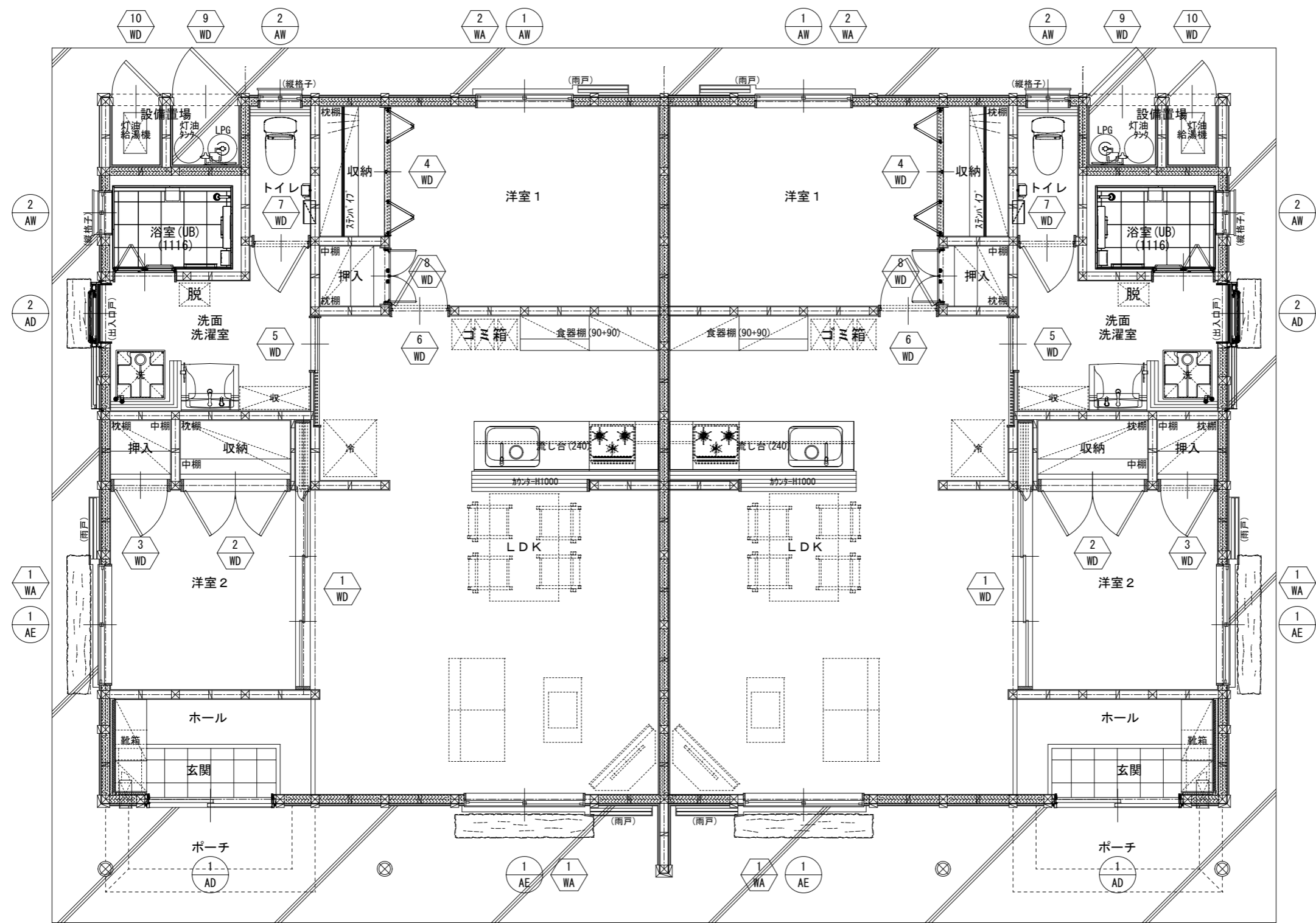


工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	展開図6(東側)
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:50
摘要		図面番号	A-20
検印	管理建築士	設計	製図
名称	株式会社 宮平設計	資格者氏名	徳村 泉
登録番号	1級建築士第事務所 144-33号 1級建築士登録(大臣) 第350160号	所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号



【凡例】

-  : 金属製建具を示す。
-  : 木製建具を示す。



建具 KEYPLAN S=1/60

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	建具 KEYPLAN
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:60
摘要		図面番号	A-21
検印	管理建築士	設計	製図
名称	株式会社 宮平設計		
資格者氏名	徳村 泉		
登録番号	1級建築士第事務所 144-33号 1級建築士登録(大臣) 第350160号		
所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号		

金属製建具表 S=1:60

符号・位置・数量	① AD	玄関	2ヶ所	② AD	洗面洗濯室	2ヶ所	① AE	LDK・洋室2	4ヶ所
姿 図						※引込方向は図面参照			
名 称	アルミ製玄関引違戸 玄関引戸JS 2枚建 16P型 (リクシル) 又は同等品			アルミ製探風勝手口片引戸 ガゼリアN エア・スライド 横格子 (リクシル) 又は同等品			アルミ製引違いハキダシ窓		
仕上・見込	木目調(BG) 製品仕様による 見込: 製品仕様による			ダスクグレー(H) 製品仕様による 見込: 製品仕様による			アルマイト処理 (ブロンズ) 見込: 70		
ガラス	LOW-eペアガラス(遮蔽) (5mmフロート + A12 + 4mm型板)			LOW-eペアガラス(遮蔽) (5mmフロート + A12 + 4mm型板)			LOW-eペアガラス(遮蔽) (5mmフロート + A12 + 3mmフロート)		
額 縁	窓枠20×45(システム造作部材)			窓枠20×140(システム造作部材)			窓枠20×95(システム造作部材)		
金 物	シリンダー、サムターン 引手ハンドル(室内外共) ラッチ付 製品仕様による			シリンダー、サムターン、上げ下げ固定ロック 引手ハンドル(室内外共) ラッチ付 製品仕様による			ロック付きクレセント、アルミ水切り 付属金物一式		
備 考	下枠ステンレス、網戸(中棧付き) 付属金物一式			下枠ステンレス、網付、付属金物一式			可動式網戸、カーテンレール(ダブル)		

【特記事項】

1. 図示▼FLは、各室床を基準とする。
2. 玄関戸、勝手口戸は規格寸法、その他は建具枠内寸法とする。
3. 建具製作前に施工図を作成し、係員の承諾を得る。
4. 額縁等のサイズは、サッシ納まり確認の上、適宜納める事。
5. 建具使用金物は事前にサンプル等を提出し、係員の承諾を得る。
6. 建具の現場取付けは、係員立ち会いの元に施工する。
7. 特記なき建具の硝子止めは、シーリングとする。
8. 建具の塗装に関する色・柄等は、全て図示又は係員の指示による。
9. その他不明の点は、係員の指示によるものとする。

符号・位置・数量	① AW	洋室1	2ヶ所	② AW	トイレ・浴室	4ヶ所
姿 図						
名 称	アルミ製引違い窓			アルミ製引違い窓		
仕上・見込	アルマイト処理 (ブロンズ) 見込: 70			アルマイト処理 (ブロンズ) 見込: 70		
ガラス	LOW-eペアガラス(遮蔽) (5mmフロート + A12 + 3mmフロート)			LOW-eペアガラス(遮蔽) (5mmフロート + A12 + 4mm型板)		
額 縁	窓枠20×95(システム造作部材)			窓枠20×95(システム造作部材) ※浴室はUBセットに含む		
金 物	ロック付きクレセント、アルミ水切り 付属金物一式			ロック付きクレセント、アルミ水切り 付属金物一式		
備 考	可動式網戸、カーテンレール(ダブル)			可動式網戸、アルミ面格子(縦)		

※窓台、まぐさ等の断面は見付寸法45mm以上とする。
 ※間柱は@500以下に適切に配置すること。
 ※窓台と間柱を強固に固定。サッシ(ドア)重量による窓台の「前垂れ」、まぐさの「ころび」防止のため、
 ねじ止めとする場合は、1箇所あたり2点止め以上、ねじ込み深さは75mm以上を目安とすること。
 ※サッシ枠取付前に窓台へ「先張防水シート」を施工し、コーナー部及び枠廻りに防水テープを適切に施工すること。
 ※防水シート及び防水テープは施工順序、重なりしりを充分確保し、コーナー部は特に配慮の上施工を行うこと。
 ※先張り防水シートと外壁の透湿防水シートの重なり順序に注意すること。

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	金属製建具表
発注機関	渡名喜村 経済課	縮 尺	S=1:60
摘 要		図面番号	A-22
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		名 称	株式会社 宮平設計
		資格者氏名	徳村 泉
		登録番号	1級建築士第事務所 144-33号 1級建築士登録(大臣) 第350160号
		所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号

木製建具表 S=1:60

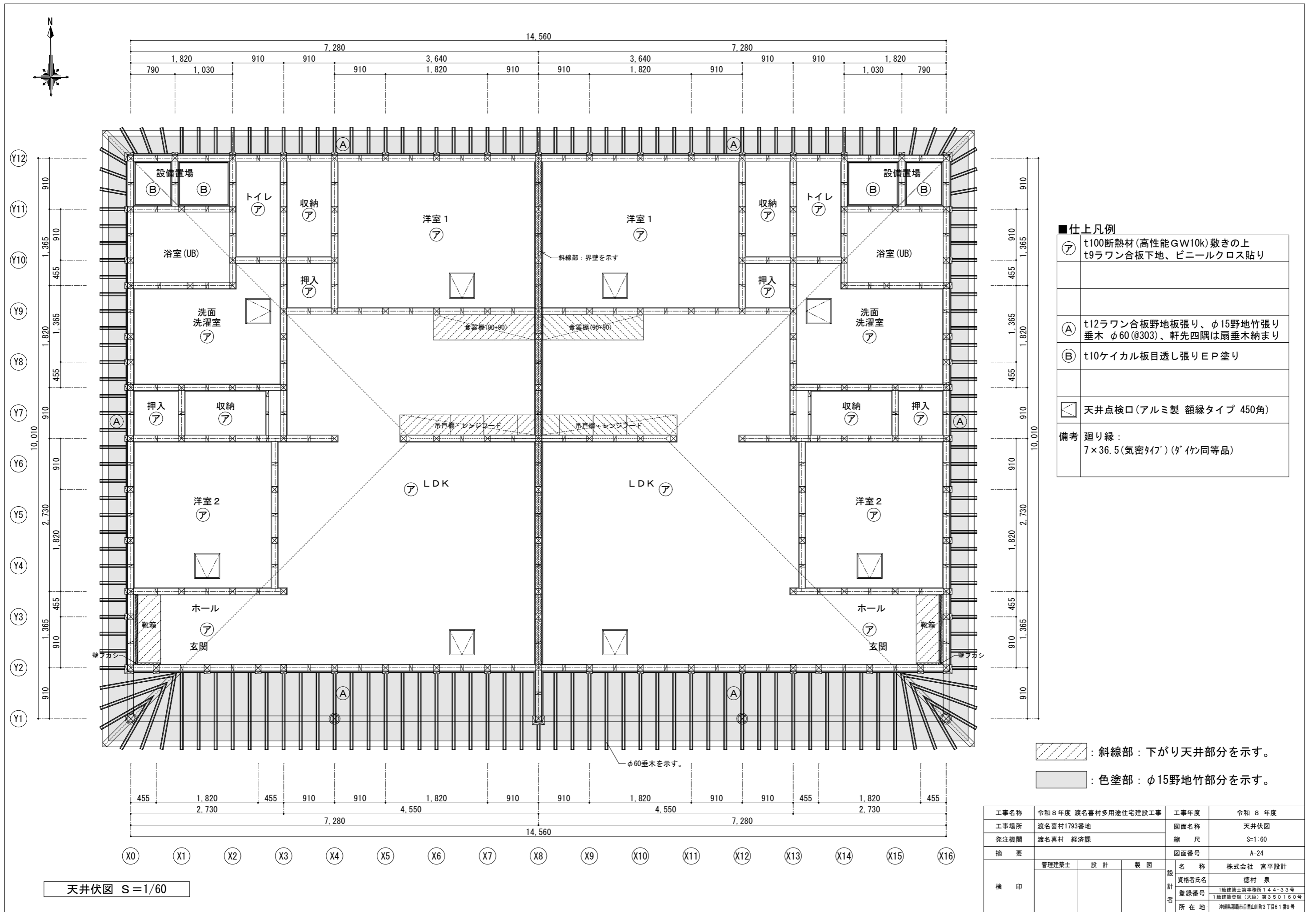
符号・位置・数量	1 WD	洋室2	2ヶ所	2 WD	洋室2(収納)	2ヶ所	3 WD	洋室2(押入)	2ヶ所	4 WD	洋室1	2ヶ所	5 WD	洗面洗濯室	2ヶ所	6 WD	洋室1	2ヶ所
姿 図																		
名 称	木製3枚片引戸 (造付)			木製両開き戸(収納) (造付)			木製片開き戸(押入) (造付)			木製折戸 折戸ユニット12デザイン(ダイケン) (既製品)			木製片引戸 引戸U0デザイン(ダイケン) (既製品)			木製片開き戸 片開きドアU0デザイン(ダイケン) (既製品)		
仕上・見込	シナ合板フラッシュ戸 OS・CL塗 見込: 30mm 塗装色は打合せによる			シナ合板フラッシュ戸 OS・CL塗 見込: 30mm 塗装色は打合せによる			シナ合板フラッシュ戸 OS・CL塗 見込: 30mm 塗装色は打合せによる			横木目タイプ 製品仕様による 色柄は打合せによる			横木目タイプ 製品仕様による 色柄は打合せによる			横木目タイプ 製品仕様による 色柄は打合せによる		
ガラス																		
枠・額縁	敷居:メラピー材 t55 W190 OS・CL塗 鴨居・枠:メラピー材 t40 W190 OS・CL塗			枠:メラピー材 t40 W150 OS・CL塗			枠:メラピー材 t40 W150 OS・CL塗			四固枠 製品仕様による			固定枠154 敷居 製品仕様による			固定枠154 製品仕様による		
金 物	戸車、金属製長角引手 ステンレス製V型フラットレール(堀込) 付属金物一式			ハンドルレス、スライド丁番 マグネットキャッチ 付属金物一式			ハンドルレス、スライド丁番 マグネットキャッチ 付属金物一式			ハンドルレス、戸車、レール 付属金物一式			間仕切カマ錠座、戸車、ラクラクローズ モヘア、ソフトクッション、付属金物一式			レバーハンドル間仕切錠、丁番 付属金物一式		
備 考	片開き戸袋蓋: t20メラピー材 OS・CL塗 ステンレス丁番 マグネットプッシュラッチ															ドアストッパー(床付)		

符号・位置・数量	7 WD	トイレ	2ヶ所	8 WD	洋室1	2ヶ所	9 WD	設備置場	2ヶ所	10 WD	設備置場	2ヶ所	1 WA	雨戸	4ヶ所	2 WA	雨戸	2ヶ所
姿 図																		
名 称	木製片開き戸 (既製品) トイレドアU0デザイン(ダイケン)			木製両開き戸 (既製品) 収納開き戸ユニットU0デザイン(ダイケン)			木製片開きカマチ戸 (造付)			木製片開きカマチ戸 (造付)			木製両引きカマチ雨戸 (造付)			木製両引きカマチ雨戸 (造付)		
仕上・見込	横木目タイプ 製品仕様による 色柄は打合せによる			横木目タイプ 製品仕様による 色柄は打合せによる			木製下地、t9杉板縦張り WP塗 見込: 40mm			木製下地、t9杉板縦張り WP塗 見込: 40mm			木製下地、t9杉板縦張り WP塗 見込: 40mm			木製下地、t9杉板縦張り WP塗 見込: 40mm		
ガラス																		
枠・額縁	固定枠154 製品仕様による			三方固定枠 製品仕様による			三方固定枠 杉材 WP塗り			三方固定枠 杉材 WP塗り			敷居・鴨居枠 杉材 WP塗り			敷居・鴨居枠 杉材 WP塗り		
金 物	レバーハンドル表示錠、丁番、小窓付 踏摺、付属金物一式			ハンドルレス、スライド式丁番 付属金物一式			ケースハンドル、ステンレス丁番 付属金物一式			ケースハンドル、ステンレス丁番 ステンレスかんぬき、付属金物一式			堀込引手			堀込引手		
備 考	ドアストッパー(床付)			ドアストッパー(床付)			戸当り			戸当り								

【特記事項】

1. 図示▼FLは、各室床を基準とする。
2. 木製建具の図示寸法は、造付は建具枠内寸法、既製品は枠外寸法とする。
3. 建具製作前に施工図を作成し、係員の承諾を得る。
4. 枠・額縁等のサイズは、建具納まり確認の上、適宜納めること。
5. 建具使用金物は事前にサンプル等を提出し、係員の承諾を得る。
6. 建具の現場取付けは、係員立ち会いの元に施工する。
7. 特記なき建具の硝子止めは、シーリングとする。
8. 建具の塗装に関する色・柄等は、全て係員の指示による。
9. その他不明の点は、係員の指示によるものとする。

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	木製建具表
発注機関	渡名喜村 経済課	縮 尺	S=1:60
摘 要		図面番号	A-23
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		名 称	株式会社 宮平設計
		資格者氏名	徳村 泉
		登録番号	1級建築士第事務所 144-33号 1級建築士登録(大臣) 第350160号
		所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号



■仕上凡例

ア	t100断熱材(高性能GW10k)敷きの 上 t9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り
Ａ	t12ラワン合板野地板張り、φ15野地竹張り 垂木 φ60(@303)、軒先四隅は扇垂木納まり
Ｂ	t10ケイカル板目透し張りEP塗り
□	天井点検口(アルミ製 額縁タイプ 450角)
備考	廻り縁： 7×36.5(気密タイプ) (ﾀﾞｲｸﾞﾝ同等品)

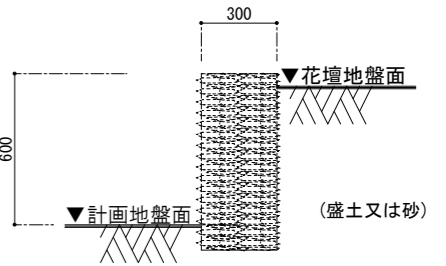
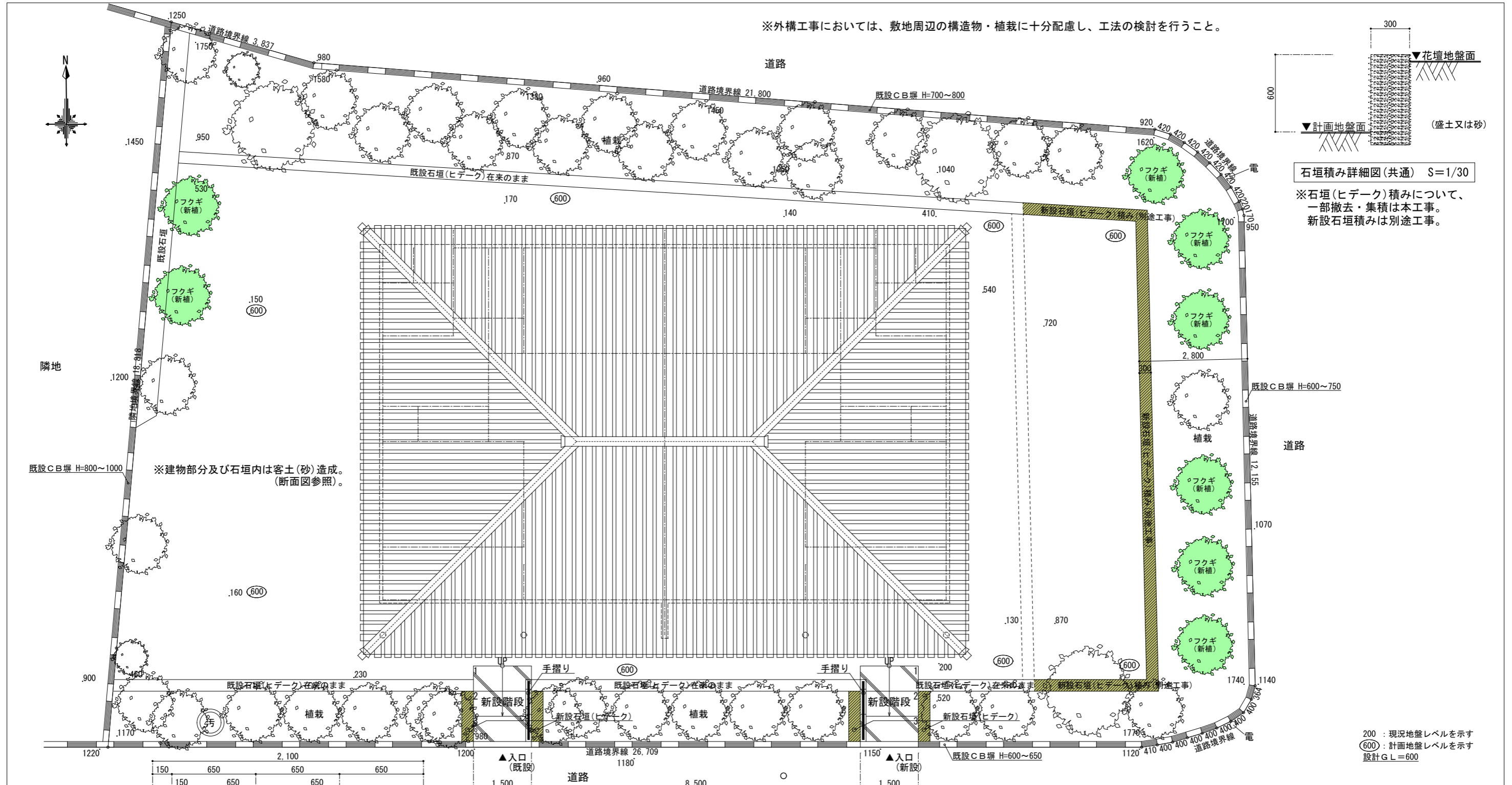
斜線部：下がり天井部分を示す。

色塗部：φ15野地竹部分を示す。

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	天井伏図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1/60
摘要		図面番号	A-24
検印	管理建築士	設計	製図
名称	株式会社 宮平設計		
資格者氏名	徳村 泉		
登録番号	1級建築士第事務所 144-33号 1級建築士登録(大臣) 第350160号		
所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号		

天井伏図 S=1/60

※外構工事においては、敷地周辺の構造物・植栽に十分配慮し、工法の検討を行うこと。

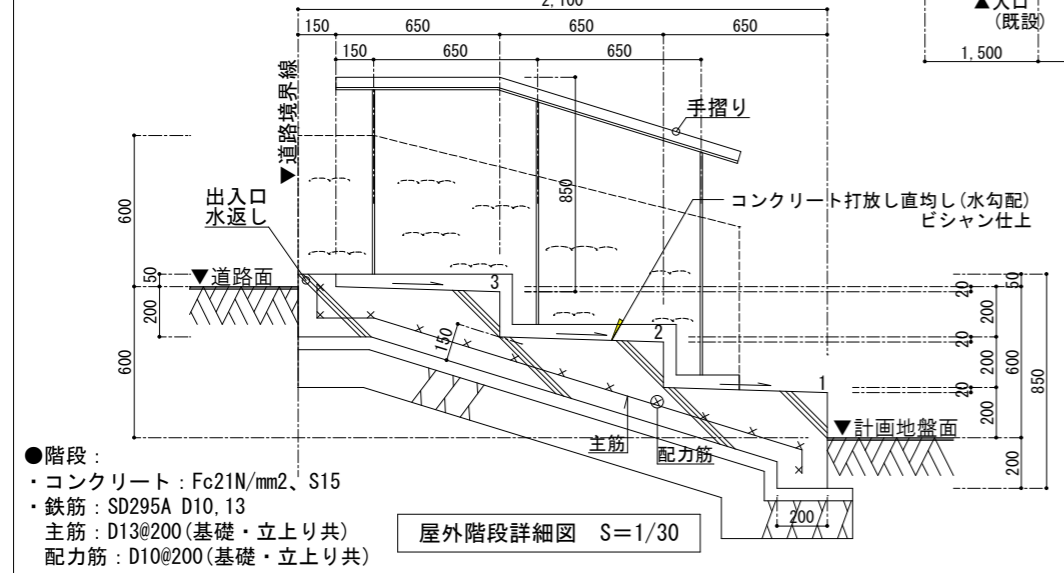


石垣積み詳細図(共通) S=1/30

※石垣(ヒデーク)積みについて、一部撤去・集積は本工事。新設石垣積みは別途工事。

※建物部分及び石垣内は客土(砂)造成。(断面図参照)。

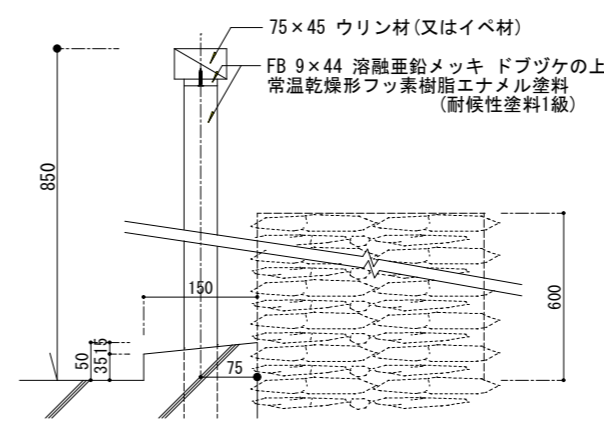
200 : 現況地盤レベルを示す
 (600) : 計画地盤レベルを示す
 設計G.L.=600



屋外階段詳細図 S=1/30

●階段 :
 ・コンクリート : Fc21N/mm²、S15
 ・鉄筋 : SD295A D10, 13
 主筋 : D13@200(基礎・立上り共)
 配力筋 : D10@200(基礎・立上り共)

外構図 S=1/100



階段手摺り詳細図 S=1/10

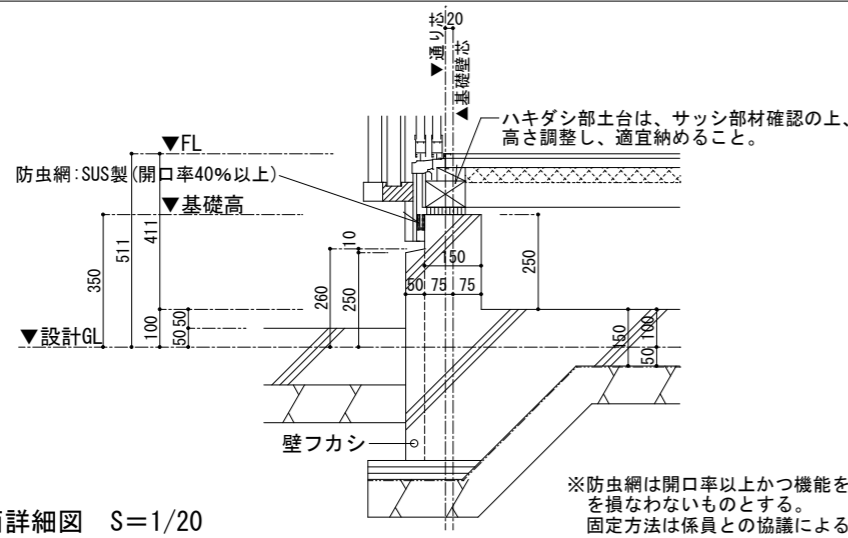
【凡例】

- : フクギ新植 (H2.0m、葉張0.5m@1.2m程度) (※一本支柱。杉丸太 H=1.8m)
- : 新設石垣積み (サンゴ積み[ヒデーク]) (※別途工事)

※新設MB取付位置にコンクリート壁(厚共)を設置(建築工事)

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	外構図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:100、30、10
摘要		図面番号	A-25
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	徳村 泉	
	登録番号	1級建築士第事務所 144-33号 1級建築士登録(大臣) 第350160号	
所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号		

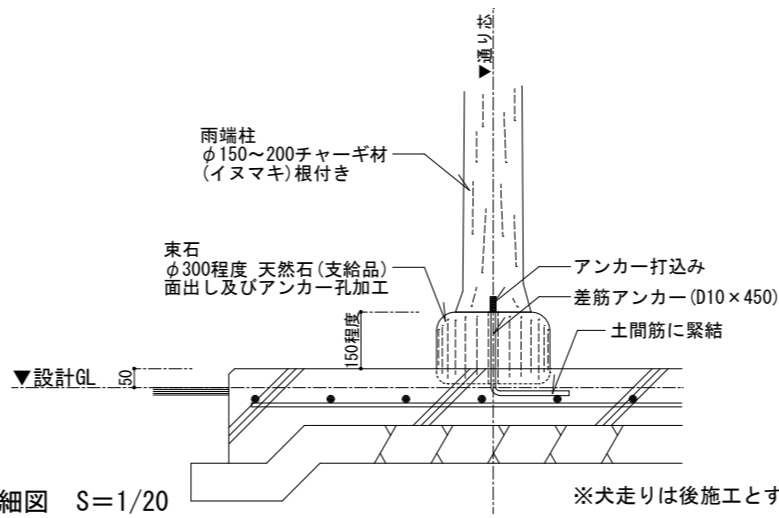
べた基礎 断面詳細図 (全周) S=1:20



断面詳細図 S=1/20

※防虫網は開口率以上かつ機能を損なわないものとする。固定方法は係員との協議による。

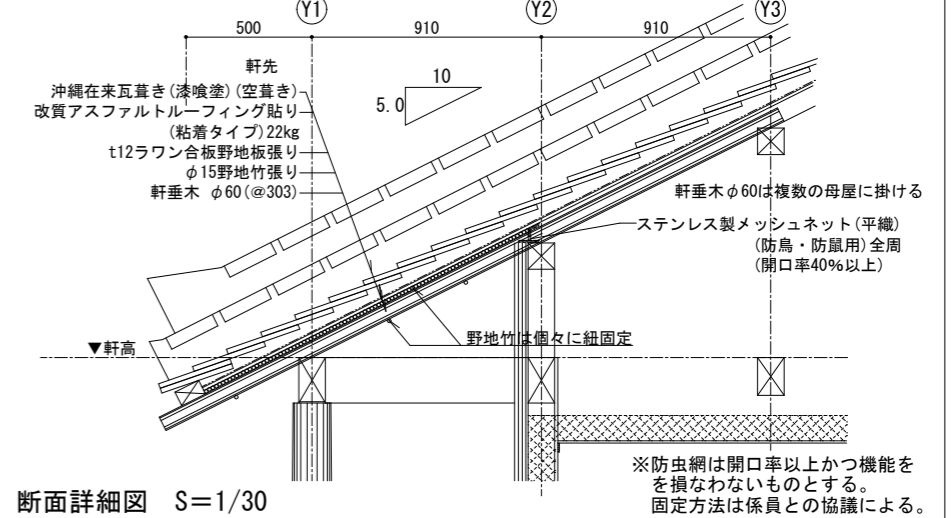
雨端東石 断面詳細図 S=1:20



断面詳細図 S=1/20

※犬走りは後施工とする。

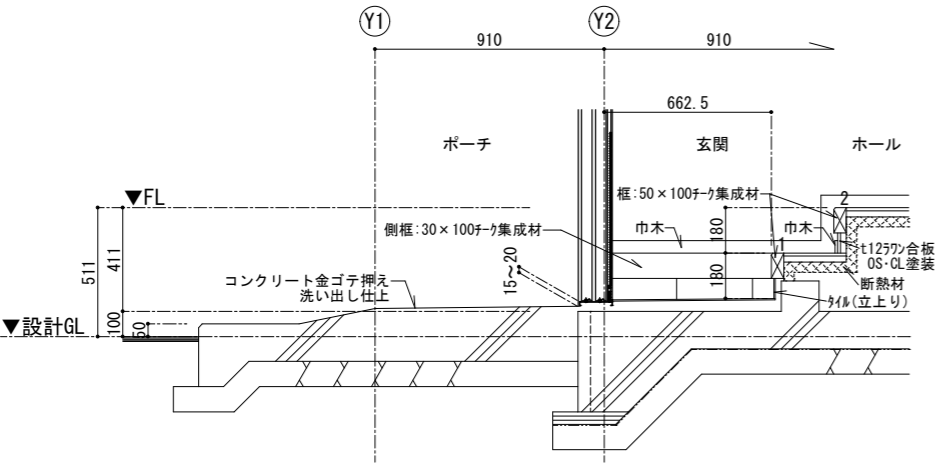
軒先 断面詳細図 S=1:30



断面詳細図 S=1/30

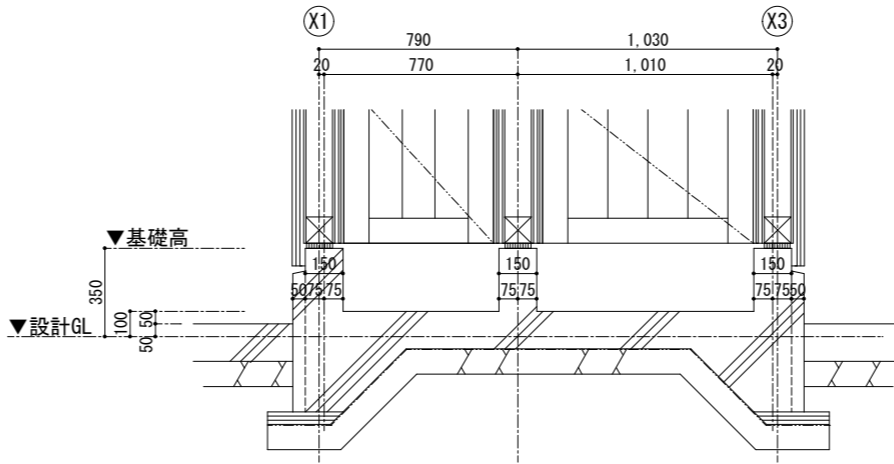
※防虫網は開口率以上かつ機能を損なわないものとする。固定方法は係員との協議による。

玄関廻り 断面詳細図 S=1:30



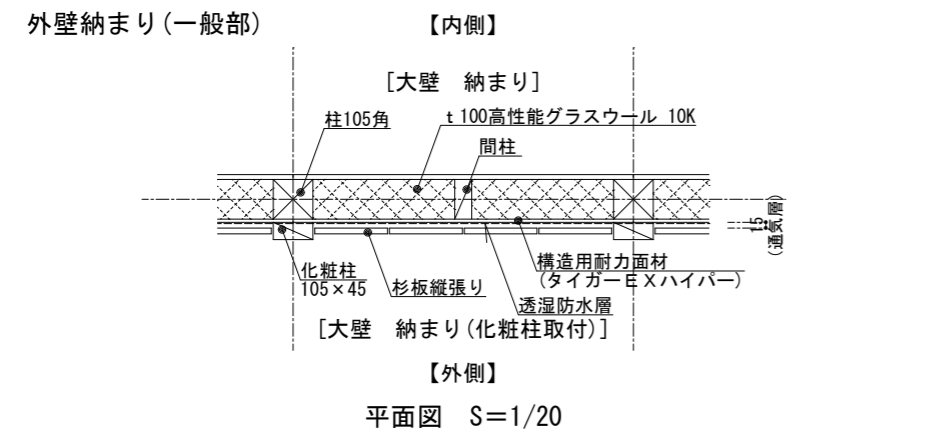
断面詳細図 S=1/30

設備置場廻り 断面詳細図 S=1:30



断面詳細図 S=1/30

外壁 平面詳細図 S=1:20

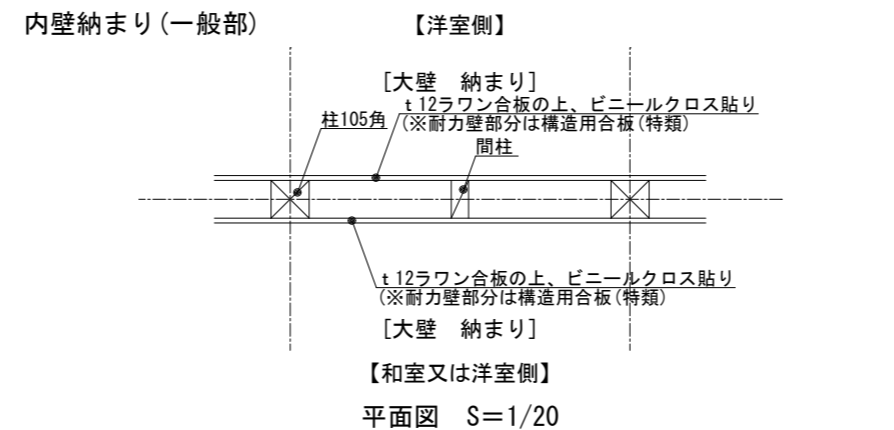


- 外壁は通気工法となるため、下地胴縁は通気の妨げとならないよう係員と調整を行うこと。
- 外壁の見え掛かり部分にクギやビスなどを施工する場合は、極力目立たないようにダボ埋めや接着剤等の処理を行うこと。

●特記事項

上記各詳細図によるほか、必要に応じ係員と協議の上、適宜納めること。

内壁 平面詳細図 (一般部) S=1:20

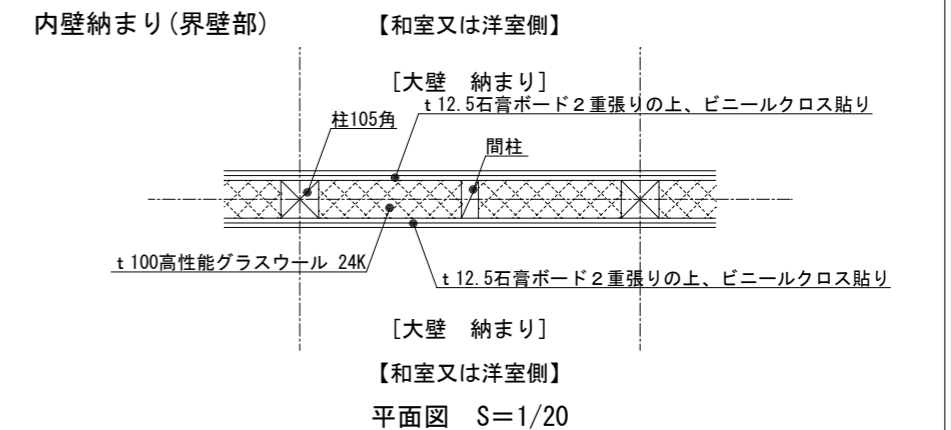


- 【和室又は洋室側】

●特記事項

上記各詳細図によるほか、必要に応じ係員と協議の上、適宜納めること。

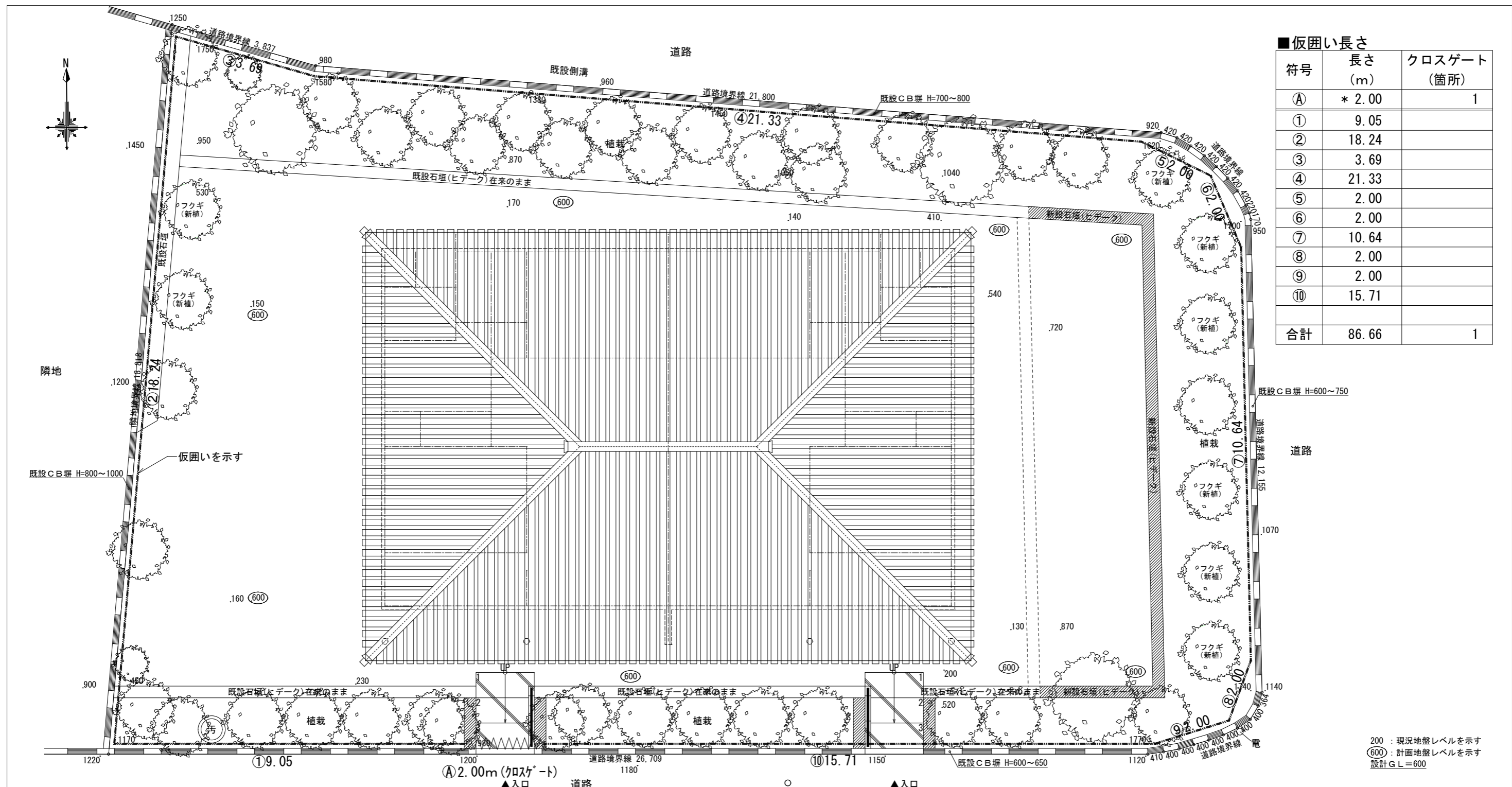
内壁 平面詳細図 (界壁部) S=1:20



- 【和室又は洋室側】

※耐力壁となる部分は、1層目を構造用石膏ボード (12.5mm以上) とする。

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	雑詳細図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:20,30
摘要		図面番号	A-27
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	徳村 泉	
	登録番号	1級建築士第事務所 144-33号 1級建築士登録 (大臣) 第350160号	
所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号		

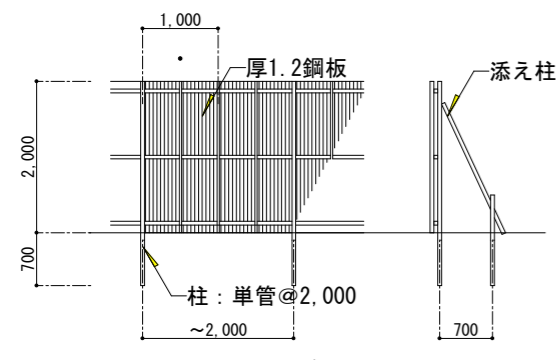


■仮囲い長さ

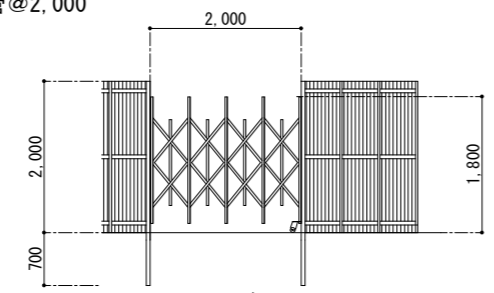
符号	長さ (m)	クロスゲート (箇所)
Ⓐ	* 2.00	1
①	9.05	
②	18.24	
③	3.69	
④	21.33	
⑤	2.00	
⑥	2.00	
⑦	10.64	
⑧	2.00	
⑨	2.00	
⑩	15.71	
合計	86.66	1

200 : 現況地盤レベルを示す
 ⑥00 : 計画地盤レベルを示す
 設計G.L.=600

外構図 S=1/100



仮囲い図
SCALE=1:100



クロスゲート図
SCALE=1:100

■特記事項

- ①仮囲いの有無、長さ、ゲート位置等は、現場状況等により適宜変更可とする。
- ②仮囲い設置期間は、4か月程度とする。
- ③客土(砂)の搬入に際し、解体撤去工事を加味した仮設計画を行うこと。
- ④コンクリート打設に際し、適切な工法を想定した仮設計画を行うこと。

【凡例】

- : フクギ新植 (H2.0m、葉張0.5m@1.2m程度) (※一本支柱。杉丸太 H=1.8m)
- : 新設石垣積み (サンゴ積み[ヒデーク]) (※別途工事)

※新設MB取付位置にコンクリート壁(厚共)を設置(建築工事)

工事名称	令和8年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和8年度
工事場所	渡名喜村1793番地	図面名称	仮設計画図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:100
摘要		図面番号	A-28
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	徳村 泉	
	登録番号	1級建築士第事務所 1.4-3.3号 1級建築士登録(大臣) 第350160号	
所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号		